

【人文学】

研究論文

中華人民共和国の国定道徳教科書における生命尊重

上 藺 恒 太 郎*

Respect for Life Described in National Textbooks of Moral Education
in the People's Republic of China

KAMIZONO Kohtaro

Summary

The People's Republic of China (PRC) is in the process of updating its moral education textbooks. The 16 different textbooks, entitled "Morality and Life" and "Morality and Society," are being integrated into one national textbook, "Morality and the Rule of Law".

This name change comes from the promulgation of a decision made by the Fourth Plenary Session of the 18th Central Committee of the Communist Party of China in 2014. This process of changing the name of moral education textbooks and changing them to a national textbook will be accomplished in 2020. However, the basic style of moral education textbooks in the PRC will not change, i.e., compilations as a comprehensive course to teach Moral subject in integration with the subjects of Geography, History, and Rule of Law including the core values of socialism. Meanwhile, the 2017 edition of the Standard for Regular Higher Secondary School Thought and Politics Curriculum has not yet been changed.

This paper focuses on the theme of respect for life presented in the new Chinese national textbooks "Morality and Rule of Law," focusing on the first-grade textbook concerning safety and the seventh-grade textbooks on respect for life organized as a unit. The paper also discusses respect for life in comparison with Japanese moral education textbooks, which were also changed to a special subject in 2018 at the elementary school level and in 2019 at the secondary school level. However, the compilation style of moral textbooks remains geared to values education, which continues from the age of Imperial Rescript on Education, originally issued in 1890 and abolished in 1948. But the value of respect for life newly appeared in Japan and began to be taught in schools from 1958. It can be understood that Japan's upholding of the value of respect for life in moral education meant that Japan would not send its students to the battlefield again in

* 共通教育部門 教職課程 教授
2020年4月1日受付
2020年5月20日受理

response to the movement against the revival of moral education.

The description of respect for life in Chinese moral education textbooks is presented in two main ways: dreams and heroic martyrs. The use of dreams draws on the Resolution of the 19th National Congress of the Communist Party of China on the Revised Constitution of the Communist Party of China in 2017, while the systematic description of heroic martyrs is based on the Law on the Protection of Heroic Martyrs, which came into effect in 2018 and was passed at the Second Session of the Standing Committee of the 13th National People's Congress.

The description of respect for life in unit 4 of the seventh-grade Chinese moral education textbook titled "Thinking about Life" begins with the topic of death. It reinforces that life is temporary and that an individual's everyday life can have great meaning when one's life is connected to the destiny of other people, societies, groups, nations, and, by extension, all human beings. The death of Lei Feng, for example, a heroic truck driver martyr, is explained as a worthy connection of personal ideals with the development of the state, the revival of the nation, and the community of human destiny.

National moral education textbooks of the PRC are carefully organized, and on the bases of five characteristics: 1) question-oriented construction, 2) cooperative learning, 3) caring, especially in the first-grade textbook, 4) psychological resilience, and 5) a national integration of moral values. Japanese moral education textbooks, on the other hand, should focus on: 1) development of citizens who consider and judge the future results of science and technology, such as genome research, 2) human rights, including the rights of the child, 3) critical thinking, and 4) self-affirmative consciousness as an integrating point of moral values.

The moral education textbooks of the PRC are oriented toward pro-social and pro-national values while discussing the care of the individual. They seek to educate individuals on how to live meaningful lives in social and state context. In comparison, Japanese moral education textbooks incline to the individual and focus more on the inner life and the individual's development. A meaningful life is thus fulfilled in personal reflection.

キーワード：生命尊重、道徳と法治、死、自己肯定感

Key words: Respect for Life, Morality and Rule of Law, Death, Self-affirmative consciousness

I. 国定化する中華人民共和国の道徳教科書

中華人民共和国（以下、中国）は道徳教科書の国定一本化へと動いている。

2018年9月から、小学校1年生と2年生ならびに7年生と8年生（6・3制では中学校1年生と2年生）が中国教育部および人民教育出版社による統一編成教科書（いわゆる国定教科書）を使用す

るようになり、それ以外の学年はこれまでの多様な出版社による教科書を使用することになっている¹。道徳教科書の名称は2018年の段階で、小学校1年生から3年生が『道徳と法治』、7年生から9年生が『道徳と法治』、それ以外の小学校4年生から6年生までが『品徳と社会』である。

I-1. 中国道徳教科書国定化の動き

これまでは、小学校 1, 2 年生が『品徳と生活』, 3 年生から 6 年生までが『品徳と社会』, 7 年生 (6・3 制で中学校 1 年生にあたる) から 9 年生までが『思想品德』の, 各出版社による教科書が使われていた。高等学校では、普通科で必修の『思想政治』あるいは選修の『思想政治』がおこなわれてきており、この教科名は、2017 年版の普通高等中学思想政治課程標準² (日本の学習指導要領にあたる) を見ると、変更されていない。

本論では中国道徳教科書の義務教育段階の変更について取り上げる。変更の柱は 2 つ、

1. 道徳に関する教科名が、したがって教科書名が『道徳と法治』に変更される動きと、
2. 教科書を国定化する動きであり、相互に錯綜している。

変更しない柱は、

3. 道徳教科書を総合課程として編纂し、地理、歴史、政治、法などと統合して社会主義の核心的価値とともに教える点である。

新しい『道徳と法治』の名称に関しては、2014 年 10 月に中国共産党第 18 期中央委員会第 4 次全体会議の決定として「法による国家統治の全面的推進における若干の重大な問題に関する中共中央の決定」が公布されたことによる³。公布された決定は、法治知識を学ぶ課程を小中学校に設けるように要求しており、この要求に応えるために、中国教育部は 2016 年 4 月に、義務教育段階の小学校と中学校の道徳の教材名を『道徳と法治』に改め統一する方向を具体化し、2016 年 9 月から小学校と中学校の 1 年生から新しい教科書を使用する、他学年の道徳に関しては教科書が審査中のため既存の出版社の教材を使用する、と通知した⁴。また平行して、中国教育部と司法部は共同で、2015 年初頭から「青少年法治教育大綱」の作成を開始し、2016 年 6 月に公布した⁵。これは小学校から大学までの法治教育の目標と内容を定めて、法治教育をおこなう教科の設置を要請するものであった。

こうして 2016 年 9 月から、小学校 1 年生およ

び 7 年生の道徳教科は各出版社が出した『道徳と法治』の教科書を使用することとなった。各出版社が出した教科書には、中国教育部が組織して編纂され、人民教育出版によって出版された『道徳と法治』が含まれており、これが後に 2017 年から国定教科書となる。2016 年の段階で『義務教育教科書・道徳と法治』は、1 年生で 16 種類、7 年生で 10 種類が出版され、使用された。教科書の内容は、新しい考え方によって全面改定されたというより、従前の内容に法治の視点からの修正を加えたものであった。

中国の道徳教科書は、名称を変更するとともに、国定教科書へと動いている。2017 年 1 月に中国教育部は、「2017 年工作要点」を公布し、2017 年 9 月の新年度から『道徳と法治』の国定教科書使用を開始し、3 年以内に全面的使用達成の努力を要請した⁶。これに従って、2017 年 9 月からは小学校 1 年生ならびに 7 年生が、国定の教科書 1 種類を、つまり中国教育部のもとで統一編集され人民教育出版によって発行された『道徳と法治』を使用し、その他の学年のうち 2 年生は各出版社による『道徳と法治』, ここには統一編集され人民教育出版から出された版が含まれている、を使用する、そして 3 年生から 6 年生は『品徳と社会』の各出版社版を使用する、8 年生は各出版社による『道徳と法治』, ここには統一編集され人民教育出版から出された版が含まれている、を使用する、9 年生は『思想品德』の各出版社版を使用することとなった⁷。

2018 年 9 月から 2019 年 7 月期は、1 年生と 2 年生が国定教科書『道徳と法治』1 種類を使用し、3 年生は人民教育出版の統一編集版を含む各出版社の『道徳と法治』全出版社 16 種類から選んで使用し、4 年生から 6 年生はこれまでの各出版社による『品徳と社会』から選んで使用し、7 年生と 8 年生は国定教科書『道徳と法治』1 種類を使用し、9 年生は統一編集版を含む各出版社の『道徳と法治』8 種類から選んで使用することとなった⁸。

I-2. 中国の道徳教科書の変遷

1990年代初めから中国の教科書制度は、多綱多本、つまり複数の教学大綱による多種類の教科書の方向へと変わった。広い中国の地域の違いに応じて教育課程の多様化が進められ、例えば上海市と浙江省は沿海開発地域として独自に教学大綱を作成し教科書を審査する権限を持つようになった。それによって道徳教育においても上海市は独自の課程標準をもち、独自の教科書を編纂し、審査し、使用するようになった⁹。これが変更され、統一編成による国定教科書が小学校1年生と7年生に導入されたのが2017年である。

国定化とは別に、2001年から中国では道徳教育の総合課程化が進められた。2001年に中国教育部が「基礎教育課程改革 綱要〔試行〕」¹⁰を公布し、基礎教育課程改革¹¹を実施し、日本の学習指導要領にあたる「全日制義務教育品德と生活課程標準（実験稿）」¹²、「全日制義務教育品德と社会課程標準（実験稿）」¹³を発表した。これによって道徳教育は徳目を並べて教える values education の形ではなく、総合課程として合科され、道徳教育において地理、歴史、政治を統合する形になった。小学1、2年生では「思想品德」と「自然」が合科され「品德と生活」になり、3年生から6年生（6・3制、5・4制では3～5年）で「思想品德」と「社会」が合科され「品德と社会」になった。そして「品德と社会」は、小学段階（6・3制7年生から9年生、5・4制では6年生から9年生）で、再び「思想品德」と「歴史」・「地理」（あるいは「歴史」・「地理」を合わせた「歴史と社会」）に分かれた。総合課程として合科された道徳教科書は、江沢民のもとで始まり、『義務教育課程実験教科書』が地方出版社も参入して編纂された。小学校では2002年9月、全国42の実験区で新たな道徳教科書『義務教育課程実験教科書 品德と生活』（以下、『品德と生活』）『義務教育課程実験教科書 品德と社会』（以下、『品德と社会』）を使った新課程が開始され、2003年9月に全国の半数以上の小学校で導入され、2007年9月までに全面的に

導入された。中学校では、2003年9月から『義務教育課程実験教科書 思想品德』（以下、『思想品德』）を使う新課程が導入された。国家主席は2003年3月に胡錦濤に代わっていた。

道徳教育が総合課程化された背景、小学段階において教科が合科された理由について、趙亜夫は、教科の内容の重複による不必要な学習を減らし、総合課程として効果を発揮し、授業効果を高め、小学生の道徳性と良好な行為習慣を養い、社会性の発展を促し、中国共産党中央委員会と国務院が打ち出した学校徳育教育強化の方針を貫徹するためとしている¹⁴。道徳教育をその国の国民育成の目的にかなうように強化する考えからすると、確かに日本流の values education¹⁵は、すなわち道徳上の価値を並べて教えるやり方は、価値がばらばらに扱われており、統合する結節点のない弱さを抱える。この道徳教育の形を克服する中国の総合課程化には、一つの世界観に諸価値を統合して個人を包摂する力強さがある。総合課程化は道徳上の各価値を教科書の示す世界観に統合し、政治の動きとつなぎ合わせる意味があり、子どもがいかなる世界観をもつかを国家または権力が握る意味がある。

中国の道徳教科書が、アヘン戦争から抗日戦争の歴史を、列強の侵略であり中国人民にとって危害と屈辱の歴史である道徳教科書で教えることは、中国がどこから来てどこへ行くかの物語へと、さまざまな道徳上の価値を結び合わせることになり、

1. 物語における個人の役割すなわち学びに意味を与え、
2. 中国共産党の正当性を受け入れさせる、ことになる。

すなわち、中国人民が中国共産党の指導者のもとで国家を滅亡から救い生存を図った、忘れることのできない屈辱の歴史を知り、祖国の革命に尽くした先人を敬愛し、国家の富強を図る愛国の志を打ち立てる物語、別言すれば、中華民族百年の屈辱の歴史から、立ち遅れれば打たれると学ぶことによって、過去を回顧することが現在を理解し未来を切り開くことになることと知る、そして、中華

を振興する志が、歴史によって課せられた責任であり、革命に殉じた人々の遺志であり、私たち子どもの責任である、今日私たちが努力しなければならないのは、中華民族の偉大な復興の夢に向かって勉強することである、と教え、学ぶ意味を語る道徳教育は、国家と権力にとって大きい。中華の復興のために勉強する¹⁶、と子どもを鼓舞する中国道徳教科書の総合課程は力強い。

中国の道徳教科書の総合課程化の流れは今も変わらず、2016年9月からの教科書では、さらに法治教育の内容を含んで再審査されるようになった。2012年中国共産党第18回大会において社会主義の核心的価値観¹⁷が提出され、習近平が2012年の同大会で総書記に選出され2013年全国人民代表大会において中国国家主席に選出されるとともに、社会主義の核心的価値観を育て、実践することが強調された。小学校段階の道徳教育に関して見ると、地理、歴史、政治、法といった社会科学の分野が、道徳教育という個人の価値観の育成に統合され、法治が強調されるようになったと整理できる。それは言い換えれば、個人の価値観が、地理認識、歴史認識、法の認識と統合された教科書の世界観の中で育成されることを意味する。中国において道徳教育は、習近平時代になって、混乱を伴いながら、社会主義の核心的価値観というイデオロギーに統合され、道徳教科書の名称変更ならびに国定化へと動いている。

1-3. 法治教育としての道徳教育へ

学習指導要領にあたる課程標準は、課程標準(2011年版)が2012年1月に出されている。これは、先述した2012年中国共産党第18回大会および2013年の人民代表大会の流れとは別に、従来の流れにおいて作られていた。すなわち胡錦濤国家主席指揮の下で「国家中長期教育改革と発展計画綱要(2010年-2020年)」が公布されたことに従って、2011年版の課程標準が作成され、教科書の改訂作業が始まり、2014年9月から、道徳・国語・歴史・科学教科以外の改訂版の使用が始まった。そして道徳教科書『品德と生活』

『品德と社会』『思想品德』については、「課程標準(2011年版)」に沿って内容を一部改訂し終え、審査が行われる方向に進んでいた。

しかし2016年に入り、先述のように、小学校の『品德と生活』『品德と社会』、中学校の『思想品德』は『道徳と法治』に変更するように通知される。それに従って急遽、改訂途中で改訂作業が行われ、審査を経て、2016年9月の新年度は、小学1年と中学1年のみが新たに『道徳と法治』の表題をつけた教科書を使用し、そのほかの学年はこれまでの実験教科書『品德と生活』『品德と社会』『思想品德』を継続して使用し、順次新版の『道徳と法治』教科書を導入することになった¹⁸。2016年6月28日には中国教育部から青少年法治教育大綱¹⁹が公布され、法治教育の新しい体制が整えられた。

つまり課程標準(2011年版)が2012年1月に出され、道徳教科書の改訂作業が終わりを迎えた時期に、胡錦濤らが引退し、習近平が2012年11月15日の18期1中全会において政治局常務委員に再選され、中央委員会総書記と党中央軍事委員会主席に選出され、中国の党・国家・軍の三権を正式に掌握する。また、2014年1月24日に開催された中共中央政治局会議で「中国共産党中央国家安全委員会」の設置と習近平の同委員会主席就任が決定され、国家安全に関する党の政策決定と調整、国内治安対策を掌握する。さらに2017年10月の中国共産党第十九次全国代表大会と第19期1中全会で、2期目の習近平体制が発足し、党規約に「習近平による新時代の中国の特色ある社会主義思想」(習近平思想)を明記し、毛沢東・鄧小平以来とされる個人名を冠した思想を載せた。

この間、2012年1月の「課程標準(2011年版)」は改訂されないまま、習近平体制に即した道徳教育の体制整備が進められたと理解できる。その軸が法治を掲げる変更であり、中国共産党中央委員会宣伝部が司法部とともに2016年4月に「公民に法制宣伝教育を展開することに関する第7次5カ年計画」(2016年-2020年)を出し、「法治教育と道徳教育の結合を推進する」を掲げ

る。この流れのなかで、教科書の名称の『道徳と法治』への変更、国定教科書化、青少年法治教育大綱による法治教育を担う道徳教育の体制が新しく組み立てられていった。

改訂に際して、権原となる上位法の改定から順を追って進む日本の流れ、時として性急などたばた劇だと批判されても、の順序性を念頭に置いては、中国の動きは理解し難い。中国では、全国代表大会などの政治展開が、直裁に子どもの前に現れる。課程標準（2011年版）はいずれ改定されるはずだと思うけれども。

青少年法治教育大綱の内容を見ると、国家に関すること、法に関することのほか安全、自然・環境保護、司法制度、国際組織も入っている。中国道徳教科書の内容を指示する青少年法治教育大綱の小学校ならびに中学校段階の教学内容を以下に記す：

小学校低学年（1-2 学年）では、

1. 国家の象徴および標章を知る。
2. 国家・国籍・公民の概念を初歩的に形成し、家族関係における法律認識の初歩を形成する。
3. 規則意識の初歩を形成し、規則の遵守、公正な競争、規則の公平の意義と必要を初歩的に理解する。
4. 法の前にすべての人が平等であるという理念を初歩的に形成する。
5. 消防安全に関する知識、基本的な交通規則を理解し、利用可能な公共サービスの電話を知る。
6. 自然を初歩的に理解し、動植物を大切に、資源節約・環境保護のためにできる限りのことをする。

小学校中高学年（3-6 学年）では、

1. 憲法の法的地位と権威の初歩的な認識を形成する。人民代表大会制度を理解し、主要な国家機関、国家主権と領土を初歩的に分かり、国防の意義を認識し、民族団結の意識を強化する。
2. 公民の基本権利と義務を初歩的に理解し、重要な民法上の権利の概要を知り、法律が未

成年者を特別に保護していることを知る。権利行使の規則を初歩的に理解し、法による権益保護の意識を樹立し、権利があれば義務があるという理念を確立し、学校におけるいじめ行為の認識と防衛の意識を形成する。

3. 規則の作成が一定の順序によるべきであることを知り、規則意識をさらに深め、公共生活の規則を遵守する。契約と契約行使を初歩的に理解し、誠実に約束を履行することや友好的であることの価値と意義を理解する。
4. 消費者権益保護・道路交通・環境保護・消防安全・禁止薬物・食品安全などに関する常用法律の基本規則を初歩的に理解する。
5. 未成年者が理解でき、よく見られる違法行為や犯罪行為及びその危害と負うべき法的責任を初歩的に認識する。
6. 司法制度を初歩的に理解し、裁判所・検察庁・弁護士の機能と役割を理解する。
7. わが国が加入する重要な国際組織と国際条約を知る。

青少年法治教育大綱の中学校段階（7 年生）からの教学内容を記す。

中学校（7-9 学年）では、

1. 憲法教育をより深化させる。国家の基本制度を了解し、国家アイデンティティを強化する。政府が法に則って行政を行う基本原則を初歩的に了解し、重要国家機構の職権を了解する。国家が人権を尊重し保障する意義を認知する。公民の基本権利と義務に対する認知を深める。
2. 民事法律活動の基本原則を了解する。契約と違約責任を了解し、誠実に約束を守る意識と契約精神を樹立する。物権の概念を初歩的に了解し、知的財産権に対する認識を深め、知的財産権を保護する意義を理解する。民事侵権行為に関する法律規範と基本原則を了解し、学生生活の実践に係る民事侵権行為（校内傷害事故等）を認識する。労働権利やその保障原則および教育や社会保険など関係する方面の法律規定を了解する。
3. 政府運営の法治原則を初歩的に了解し、治安

や道路交通、消防、環境保護、国家安全、公共衛生、教育、税収などの公共事務の法律原則を了解し、法に則り社会公共事務に参加する意識を初歩的に形成する。

4. 社会生活においてよく見られる違法行為に対する認知を深め、法律責任意識を強化し、遵法観念を強固にする。犯罪行為の特徴や刑罰の種類を了解し、校内暴力など青少年によく見られる違法犯罪行為に対する防犯意識や対応能力を構築し、法律で定められた罪状と刑罰や無罪推定等の原則、正当防衛、緊急避難等の概念を初歩的に認知する。
5. 我が国の司法制度の基本原則を初歩的に了解し、司法を尊重する意識を構築する。手続的正義（procedural justice）が実際の法治に及ぼす作用を初歩的に理解し、法に則って紛争を処理し、理性的に権利を守る意識を構築する。

中国共産党中央委員会宣伝部は教科書審査に深く関わるが、司法部とともに 2016 年 4 月に「公民に法制宣伝教育を展開することに関する第 7 次 5 カ年計画」（2016 年－2020 年）の主要任務 2 項目目の 7 番目として「法治教育と道徳教育の結合を推進する」を掲げ、次のように説明する：社会主義の核心的価値観を大いに高揚し、中華伝統美德を高揚し、社会公德、職業道徳、家庭美德、個人品德を培い、全民族の思想道徳水準を引き上げ、全面的に法によって国を治めるための良好な人的社会的文化的環境を創造する。規範意識を強化し、契約精神を提唱し、公序良俗を高揚し、法に定める義務、社会における責任、家庭における責任を自覚的に履行するよう人々を導く。

先述の青少年法治教育大綱は、この第 7 次 5 カ年計画 3 項目目の「対象と要求」に制定する旨が書かれ、2016 年 6 月に公布された。青少年法治教育大綱は、法治の考えを道徳教育と結びつける趣旨について、目標の項目で全体目標として次のように書く：社会主義の核心的価値観を指針とし、法治知識を普及し、法を守る意識を養成し、青少

年が、個人の成長と社会生活に参加するために必要な法律の常識、制度、明晰な行動規則を理解し、法を尊び、法を守ることを自覚し、行為習慣を規範化し、法治概念を培い、法に則るよう自身の行為を規範化し、是非を分別し、法律を運用する方法で自己の權益を守り、法律を手段として国家や社会背活に参加する意識と能力を増強し、法治理念を実践し、法治信仰を樹立し、法治実践に参加し、社会主義法治の道の価値および制度に対する認識と同意を形成し、社会主義法治の忠実な崇拜者、自覚的遵守者、堅固な防衛者となるように導く。

法治教育と道徳教育の結合を総合過程として推進する『道徳と法治』教科書の意図は、中国共産党中央委員会宣伝部による第 7 次 5 カ年計画ならびに青少年法治教育大綱に明らかであろう。しかし法治教育のこれらの要求がそのまま道徳教科書に書かれるわけではない。道徳教科書として従前からの流れがあり、自然、歴史、地理ならびに社会主義の核心的価値観を含めて総合過程として編集する必要がある。

I-4. 夢の集約と英雄烈士描写

中国共産党中央委員会宣伝部ならびに司法部による青少年法治教育大綱に加えて、夢の強調と英雄烈士の 2 つを、中国の道徳教育を動かす要素として取り上げておきたい。

I-4-(1). 夢の強調

習近平は、夢という用語で国家目標を語り、これを個人の夢と結びつける論理で語る。すなわち、2012 年 11 月に「中華民族の偉大な復興の実現という中国の夢」を打ち出し、各界の優れた青年代表との座談会において「中国の夢は、国家の夢であり、民族の夢であり、中国人一人ひとりの夢でもある」²⁰と語る。背景にはそもそも、「中華の振興」が 1894 年に孫中山（孫文）が初めて使ったスローガン²¹で、1980 年代の中国で最もポピュラーな政治スローガンとなり、周恩来が使った経緯がある。その後、江沢民が「振興」に代わ

って「復興」を使い、新たなキャッチフレーズ「中華民族の偉大なる復興」を語り²²、胡錦濤は「中華民族の偉大なる復興」は共産党の歴史的使命であると言い、政治報告で「改革と開放は中華民族復興の唯一の道」として「教育が民族復興の礎石」²³としている。習近平はこれらを受けて「中華民族の偉大な復興の実現という中国の夢」と言い、「中国の夢は、国家の夢であり、民族の夢であり、中国人一人ひとりの夢でもある」と、中国の夢、国家の夢、民族の夢、個人の夢とたたみかけ、教育に網をかけようとしていると理解できる。

道徳教科書としては、北京市の教育科学出版社版が2004年『品德と社会』5年下61-65頁すでに、〈中華を振興する私たちの責任〉として、子どもの論議として以下のように叙述している：「帝国主義列強はなぜあえて私たちの国土で勝手気ままなふるまいを行ったのでしょうか？あなたが知っている原因を話してみましょう」、「清政府の腐敗と無能が原因だよ」、「私たちの国がとても立ち遅れていたからだよ」、「中華民族百年の屈辱の歴史は、私たちに、立ち遅れれば打たれると告げます。過去を回顧することは、更によく現在を理解し、未来を切り開くことなのです。国の恥辱を忘れず、中華を振興することは、歴史の重い責任であり、革命に殉じた人々の遺志であり、私たちの責任なのです。今日、私たちが努力しなければならないことは、中華民族の偉大な復興のために勉強することなのです！」と記述し、周恩来の少年時代の言葉「中華の振興のために勉強する」²⁴を掲げる。中国道徳教科書はこのようにして、中国共産党執行部の掲げる「二つの百年奮闘目標」である「偉大なる復興」を実現するために、アヘン戦争以来の歴史を教え、子どもに「私は中国人」との自覚と責任を求め、国家と個人（子ども）を一体化してアイデンティティを涵養しようとする²⁵。そして習近平が「夢」の用語を使う²⁶と、2015年に筆者が遼寧省の私立学校を訪問した際にはこの言葉を引いて、『私の夢（我的夢）』と題する学校紹介が作られていた²⁷。中国共産党

トップの語り、すぐに子どもの前に教育として現れる。

2017年10月24日には中国共産党第19回全国代表大会において、「中国共産党第19回全国代表大会の『中国共産党規約(改正案)』に関する決議」がおこなわれ、採択された日から発効した。その内容を新華社は日本語で伝えた²⁸。その中で、夢、の文言は「偉大な夢」「中国の夢」の形で4回登場する。最初は「習近平新時代の中国の特色ある社会主義思想の指導の下、中国共産党は全国各民族人民を導き、偉大な闘争、偉大な工程、偉大な事業、偉大な夢について統合的に計画し」と最初のパラグラフで登場し、「大会は、中華民族の偉大なる復興の実現は近代以来中華民族の最も偉大な夢であり、我々の党が人民に、歴史に行った莊嚴な承諾であると認識している。大会は、党の規約で、「二つの百年」を達成するという奮闘目標、中華民族の偉大な復興である中国夢（ママ引用者注）を実現するという壮大な目標を党の規約で明確することを承諾した」と2回、夢の文言を中華民族の偉大な復興として語り、決議の最後に「小康社会の全面的完成の決戦に勝利し、新時代の中国の特色ある社会主義の偉大な勝利をかち取り、中華民族の偉大な復興という中国の夢を実現し、人民大衆の素晴らしい暮らしへのあこがれを実現するために引き続き奮闘していこう！」と呼びかける。この流れを見ると、中国の夢とは中華民族の偉大な復興であると、中国共産党規約によって端的に規定される。中国人一人ひとりの夢、子どもの夢は、中国共産党によって、中華民族の偉大な復興に資するところに集約され、中国国定教科書はその線に従って構成される。

中国国定教科書最終学年の9年級上の最後の単元は、調和と夢、と題され、最後の課第八課のタイトルが、中国人 中国の夢、である。この課の始まりに中国がその夢へと歩む自信が現れている：小康社会（ゆとりある社会）を作り上げるという夢は間もなく現実になる。民族復興の夢は今まさに現実になろうとしている。夢への追求という道を、栄えた国という輝かしい未来への道を、

中国人は自信を持って歩んでいる。「赤橙黄緑青藍紫、あの虹色のリボンを持って空を舞っているのは誰だろう？」自信を持つ中国人は国に対するアイデンティティを、文化に対する意欲を、発展に対する確信を抱いている。そうすれば必ず民族復興の歴史の重責を担えるであろう。中国の若者は輝かしく、自信に満ち溢れ、共に励み、祖国と共に成長するのである²⁹。

夢の文言による個人の国家への集約の枠組みが、15歳の時期の道徳教科書に体系的に描かれるのを見ることができる。多くの若者が、中国のこうした国家建設の夢に参画することを喜びとするとされる。それは総合課程化され、体系的に一本化された中国道徳教育の力強さである。

I-4-(2). 英雄烈士

第13期全国人民代表大会常務委員会第2回会議表決において、英雄烈士保護法が通過した。この法は、2018年5月1日から施行された³⁰。

全国人民代表大会常務委員会法工委立法规划室主任岳仲明は、全国人民代表大会常任委員会弁公庁の記者発表会上で、以下のように指摘している：現在若者の中に記念すべき場所で第二次世界大戦中の日本軍の軍服を着て写真をとり、インターネット上で発表し、侵略戦争や侵略行為を美化して宣伝する者がいる。これらの行為は公安機関で法に則って処理することが必要であり、良好な社会的効果も得られる。英雄烈士保護法は英雄烈士の保護と結びつけ、さらに一歩すすめて関連する法律責任を明確にするため、成文化した³¹。

報道として中国評論新聞網社は2018年4月28日に次のように伝えた：英雄烈士保護法の制定は、国家と人民が、中華民族と中国人民の為に犠牲となり貢献した全ての英雄烈士を、永遠に銘記することを改めて公示し、英雄烈士を保護するという価値を鮮明に導くことを表明するものである。本法が規定する英雄烈士保護の制度と施策は、主に5点挙げられる。1. 英雄烈士を記念し追悼する。2. 人民英雄記念碑の法的地位を確立し、英雄烈士記念施設の保護と管理制度を打ち立て整備する。

3. 英雄烈士の事績や精神の広報と教育を強化する。4. 英雄烈士の補償優待制度を実施する。5. 行政や民事、刑事面で、英雄烈士の姓名や肖像、名誉、栄誉の保護を強化し、英雄烈士の名誉や栄誉の侵害に対する公益訴訟制度を打ち立てた。その上で岳仲明が、北京青年報記者の質問に次のように答えたと報道する。岳仲明：英雄烈士保護法は、英雄烈士を全面的に保護する法律制度施策を規定したもので、近代以来、無数の英雄烈士が、民族の独立と人民の幸福を勝ち取るために、国家の繁栄不況を実現するために、如何なる困難にもくじけず勇往邁進した。彼らの犠牲や貢献がなければ新中国はなく、今日の幸福な生活はない。そのため、英雄烈士保護法は、国家と人民が、中華民族と中国人民の為に犠牲となり貢献した全ての英雄烈士を、永遠に銘記することを改めて公示し、英雄烈士を保護するという価値に鮮明に導くことを表明するものである。この法律は、現行の法律や行政法規の一部規定を総合したもので、国家が英雄烈士を称賛、記念、広報し、英雄烈士を保護し、社会の公共利益を守ることを全面的に強化し、英雄烈士の精神を大いに発揚し、社会主義核心価値観を培い実践し、中華民族の偉大なる復興という中国の夢を実現する強大な精神力を奮い立たせることを中心とする³²。英雄烈士において、教育の強化ならびに中国の夢が結びついている。

道徳教育を総合課程として教える際、事実を並べながら叙述されるアヘン戦争から抗日戦争と続いた屈辱の歴史から、中国が中国共産党の指導者のもとで滅亡から救われた、その過程に尽くした英雄烈士を称揚することは当然であり、彼らによって今日の中国の小康（少しゆとりのある）状態に至っていると語る物語は揺るぎない。英雄烈士への批判的態度は、その物語を揺るがす。英雄烈士について語る岳仲明の記者会見の最後を、中華民族の偉大なる復興という中国の夢に引きつける点は、子どもを中国の夢の実現の歴史へと招請する意図を感じる。記者会見最後の文言は、習近平が2012年11月29日に語った「中国共産党創立

百周年を迎えるまでの小康社会を全面的に築き上げるという目標と、新中国成立百周年を迎えるまでに富強・民主・文明・調和の社会主義現代化国家を築き上げるという目標を必ず達成することができ、中華民族の偉大な復興という夢は必ず実現できるということを、私は固く信じている」³³に結びついている。こうして中国における道德教育は、夢を吸引力にした個人の国家への統合（integration）のレトリックをもち、中華民族の夢に向けた総合課程として紡ぐ物語を背骨にしていると読み取れる。

とはいえ、2012年1月に出された課程標準（2011年版）は改訂されておらず、中国国内に複数の課程標準がある状況は変わらず、多様な教科書と複数の課程標準が認められてきた流れが、上有政策下有対策の成句がある中国において一挙に統合されるのか、お上の政策が地方下部でそのまま実施される日本と同じ思考を中国に当てはめることは留保したい。教科書は国定のもが使われても、副教材など多くの道德資料があり、地方の授業研究組織があるなかでの中国道德教育の実情がどうなるか注目が必要である。

II. 中国道德教科書の生命尊重

日本の道德教育には、4つの特徴がある。

1. 日本の道德授業は、価値を並べて小話で教える values education を学年毎に繰り返す。これは、教育勅語（1890年）時代からの形を引き継いでいる。すると各価値は、各学年で反復され、成長に従ってきめ細かく授業を組む体系性がある反面、毎回単発に終わる軽さがある。軽くても道德教育の目的となる価値を統合する結節点が明らかであれば、例えば子どもの自己肯定感の成長に焦点化して各学級の場に合わせて組むのであれば、力強さが生まれる。

2. 日本の道德授業は控えめである。第二次世界大戦後すぐ連合軍最高司令官総司令部（GHQ）により修身の教科が廃止され、社会科に道德の要素が組み込まれた時からすると、1958年に道德の時間が特設されて復活したとはいえ、道德科専

任の教員を置かず、教科書をつくらず、児童生徒の数値評価をおこなわなかった時期を経て、2018年小学校および2019年中学校において検定済み教科書使用へと変遷したが、教科書だけが検定され、教員養成を含めて他の2つは控え目な特徴を引き継いでいる。道德教育の控えめさがしかし、教育全体へのつながりと子どもの自由な空間を保証しているならば、むしろ意味がある。

3. 日本の道德授業は、扱う諸価値の結節点をもたない。ただ、1958年の学習指導要領は、生命尊重を結節点に置いたように理解できる。すなわち、生命尊重をすべての価値の第1に置いたことにより、生命尊重を筆頭として教える意味づけがあったと理解できる。それは当時の状況から必要だっただろう。日本教職員組合³⁴が「教え子を再び戦場に送るな」と掲げて道德の時間の特設に反対し、日本教育学会も特設道德を批判し、第二次大戦後に道德を包摂して成立した社会科も例えば上田薫が1958年の道德を徳目主義だと批判³⁵した時代には、教育勅語の「一旦緩急アレハ…皇運ヲ扶翼スヘシ」、そのために各人の生命尊重を言わなかった明治から第二次世界大戦中までとは、特設した道德は異なるのだ、特設する道德は生命を尊重する、生徒を戦場に送る意図はない、と示す意味をもった。その後しかし生命尊重はABCDに価値を分けたなかのDの(1)に動かされ、児童生徒の生き方在り方を語り始めた時期から、より明確には教科化において「よりよく生きる喜び」を小学校高学年に入れた時期から、つまり価値ではない要素を教えるように繰り返した2018年から、価値の結節点を児童生徒個人の生き方に置く姿勢を示したと理解できる。その際どのような生き方が妥当かを言わないまま、よりよく、と誰が判断するのか言わないまま、出版社に丸投げして検定する方式にしている。諸価値を児童生徒に統合するとも言わないまま、行政上の統制を強めて、子どものいる場に道德教育を委ねることなく、行政上の表現を微妙に揺らしながら values education の手綱を握り続けている。

4. 出版社は、日本という資本主義社会で、売れ

ることを主眼に道徳教科書をつくる。8社ほどの出版社にとって教科書づくりの柱は、文部科学省の検定に合格すること、および、売れること、の2点である。各教科書会社が、どの教員も読めばわかる水準の小話をちょっといいね風の1回読み切りの小話にしつらえ、労少なく毎週扱えるように編成する。こうして出来上がる教科書のばらばら感、「答はないのだよ」との子どもへの教育現場の語り口は、多様な価値の受け取りを保証しているとも言える。実際、教科書の小話の多様な解釈が授業研究であり、あるいは道徳論文であり得る。しかし道徳教科書の作る世界は、ばらばらな小商品を並べて、子どもの実情に合わせて一品ずつ選んで学校・学級の道徳教育課程を構成するのではなく、一括で6年分を買い取らせた上で、使用義務があると授業者に言う不思議な世界になっている。商品選択の自由と多様な思考があるように見えて、右へならいの思考に枠づけられている。

中国の道徳教育は、values educationの形を抜け出して、

1. 総合課程として教える。そのため価値の扱いとして、単元にまとめる編成を採る。単元として児童生徒の活動を促しながら重厚に記述する。生命尊重に関する単元は、小学校1年生の安全に関する部分、ならびに第7学年(6・3・3制で中学校1年生)教科書上冊の第4単元「生命を考える」に集中している。
2. 16種類ほどの道徳教科書を許容した時代から、国定教科書一本に絞って道徳教育を進める体制を構築しつつある。道徳専任の教員がおり、道徳の教科の評価があり、筆記試験があり、大学入試でも試験する。
3. 教科書はさまざまな語りを取り入れるが、結節点は、国家あるいは中国共産党、今日の言い方では中華民族の復興の実現という中国の夢であり、ここに向けて単元を組みあげる体系性がある。
4. 中国の道徳教科書は、9年間を見通して組まれ、歴史、地理、政治、法治を含んで総合単元的であり、中国共産党による世界観によって体系的

に子どもを育てる構成である。子どもの思考がその枠組みから出るのは困難であろう。批判的思考、事実の洗い出し、生活感覚とのずれなどを体系的に総合して、いわゆる夢を放棄するほか、枠組みの外に出るのは難しい気がする。それは、イデオロギーや宗教の枠組みを相対化する個人の努力に匹敵する。

だからといって中国の道徳教科書が教条的な教え込みするわけではない。中国の国定教科書『道徳と法治』第1学年上、人民教育出版社³⁶は、第一単元が「私は小学生」、第二単元「学校は本当に楽しい」、第三単元「家の中の安全と健康」、第四単元「天気は寒いけれど暖かさがある」と構成される。子どもが家から学校に行く場面(2頁)から始まり、新しい教科書をもらい、友だちと手を取り合い、遊び、学ぶ学校の楽しさを伝える。そこにはしかし、単元のタイトルから日本で思い浮かぶであろう価値の記述に加えて、結節点への布石が見える。1つは、青少年法治教育大綱に沿うように、第一単元からさりげない形で、3頁、4頁、10頁、11頁と17頁、19頁と国旗を示し、第2単元に入り21頁で、英雄烈士である雷鋒(雷正興)であろう像が赤い国旗に囲まれた横で、子ども3人が「私たちは共産主義の継承者」と歌う図が示され、26頁で国旗掲揚ならびに国旗を4人で持つての行進、そして中華人民共和国国家の楽譜ならびに標章が示される。9月から始まる新学期から教え始めて、26頁目が、10月1日の国慶節に至るのだろう。すると、1ヶ月ほどで小学校1年生が道徳教科書26頁を学ぶ計算になる。つまり国慶節までに小学校1年生は、国旗、雷鋒、国家の表象および国歌を知ると想定される。2つには、学びの意味がさりげなく示される。3および4頁に教室に掲げられた「よく勉強して、日々向上しよう」のスローガン、10頁には「一所懸命学び、誠実に約束を守る」と掲げる。最後の単元は、冬だけれども春節(旧正月)の喜びを描いて、上冊を終える。小学校1年生を学校の道徳教育に招き入れて共産党の流れにつなぐ、よく考えられた構成である。

生命尊重に関わる要素を『道徳と法治』一年級上冊に見ると、安全に関して、第一単元 14-19 頁「通学路上」で横断歩道、橋、踏切、工事現場などの安全を、絵と短い言葉で語り、道路に飛び出さない、集団登校中はしゃがない、上級生との登校、校門で保護者が子どもの下校を待つようす、信号を守る、などが示される。家の中の安全と健康が語られるのは、第三単元、36 頁から 51 頁と厚みがある。36 頁になると、「今日私は学校で…」と目隠しや縄跳びなど学校での遊びを母に語り、家での遊びについて「私は家で…して遊ぶのが好きです」と教室で話すように促し、しかし 37 頁で「こんなに楽しいですか」と、ライターに火をつける、大声で話す、テレビの見すぎ、宿題わすれ、をたしなめる。38, 39 頁と段ボール箱や木の葉を使って遊び、おもちゃの交流会を紹介し、40 頁で「考えて、気をつけて、食べることが大事」と手洗いやマナーを語り、野菜、穀物、肉魚果物など食物の大切さとともに、ジャガイモが「私は芽が出たから食べられない」と語るなど家庭科の要素を取り込んで、身の回りの安全を語り、最後に 50, 51 頁で「早く寝て、時間通りに起きる」と題して、「私は一人で寝ることができます」と就寝する絵で終わる。最後の単元は、家庭の温かさ、春節の楽しさにあふれて終わる構成である。

単元としての生命尊重は、『道徳と法治』7年級上冊第四単元、生命を考える（生命的思考）、にまとまっている³⁷。他の単元が2つの課で構成されることが多いのに対して、生命を考える単元は、3つの課にわたって以下のように構成され、87 頁から 120 頁の 34 頁に及ぶ。日本でい言うと、中学校1年の前期の最後に学ぶ項目になる。生命を考える単元の扉には、次のように書かれる。

あなたは、生命について考えたことがありますか？

生命は、どこから来て、どこへ行くのでしょうか？

生命の意義はどこにあるのでしょうか？

個人の生命と他の人の生命、人類の命運には、

どのようなつながりがあるのでしょうか？

私たちは、生活の中で志を立て、それを堅持し、責任を果たし、貢献します。体験し探索し創造し、自分の行動を通して素晴らしい答えをみつけていきましょう。

日本の道徳教育と異なるのは、中国では行為を要求する点である。日本のように態度までで、行為の手前で、寸止めはしない。生命を考える単元全体は以下のように構成される。

『道徳と法治』7年級上冊 第四単元 生命を考える

第八課 生命を尋ねる

生命は永遠に続くか

〈生命には限りがある〉

〈生命を受け継ぐ〉

生命を畏敬する

〈生命は至上である〉

〈喜びと悲しみを共にする〉

第九課 生命を重んじる

生命を守る

〈身体を大事にする〉

〈精神を養い守る〉

生命の強靱さを増強する

〈生活に挫折はつきもの〉

〈生命力を発掘する〉

第十課 生命の花を咲かせる

生命の意義を感じとる

〈生命を追求する〉

〈私の生命に気づく〉

精彩ある生命を生きる

〈貧しさと豊かさ〉

〈冷淡と親切〉

〈平凡と偉大〉

中国の国定教科書は、生徒が考え行動するための工夫を懲らしてコラムを多用する。絵と生徒の語る短いフレーズによって、「経験から考える」「経験を応用する」ように促す、せいぜい 10 行ほどの文章をもとにした協同での話し合い「探求

と分かち合い」、関連を示して調べさせる「リンク」、「方法と技能」を列挙しながら最後は書き込ませる表、「発展空間」として書き込ませ、考えさせ、インタビューさせるコラムなどで構成される。教員は、生徒の学びの組織者になるように、教科書が構成されている。

英雄烈士として、小学校1年生で示唆した雷鋒が、7学年の生命を考える単元に登場する。第十課 生命の花を開かせる、生命の意義を感じとる、に登場する。人民解放軍兵士で22歳にして亡くなった雷鋒がトラックとともに映っている写真と日記を示した後、以下の説明を2018年7月印刷の『道徳と法治』7年級上冊のようにおこなう。2018年印刷版は、表紙にある2016年教育部検定の印は変わらないまま、説明が2016年8月印刷のものから次のように修正されている、修正部分に下線を引いた：どのような一生が生きる価値がありますか？自分の人生を生き、自分で働いて生活し、自分の価値を実現する、このような一生は価値があります。他の人が必要としたとき、自分の思いやりの気持ちを差し出し、その事の大小にかかわらず自分の責任を果たす、このような一生は価値があります。個人の理想を国家の発展や民族の復興、人類運命共同体と結びつけることができること、このような一生は価値があります。修正は、先に説明した2017年10月の「中国共産党第19回全国代表大会の『中国共産党規約（改正案）』に関する決議」の文言に沿っている。

この記述は3つの点で注目し値する。

1つは、小学校1年生で布石の打たれた英雄烈士が登場する。

2つには、兵士の死が、生命の花を開かせる、と題した課の、生命の意義を感じとる、部分に登場する。

3つには、2016年印刷の記述から2018年印刷にかけて、記述の意図が鮮明になる変更がおこなわれた。

1つめは、道徳を国定教科書1冊の使用に絞ることによって可能となる教えの体系的組み立てである。日本の各価値が各学年にばらばらな小話を

並べて登場人物が体系化されない欠点、登場人物が子どもにとって、これ誰？から始まる欠点、それは多様な選択に任されている自由の表現でもあるが、その欠点が、中国国定道徳教科書においては英雄烈士を国家の価値体系によって整理し登場させることによって克服される、あるいはどのような一生に価値があるかの価値観が限定され、示される。2つめは、2016年夏からの変更によって、自分で働いて生活していた、との点に加わり、また、2016年夏の印刷では「個人の理想を人類共通の必要の上に打ち立てる、このような一生は価値があります」となっていた部分に、「国家の発展や民族の復興」の文言が入った。もう一カ所、2018年夏印刷で内容の変更がなされた箇所がある。それは、2016年夏印刷104頁「中国人として、私たち一人ひとりの精神文化には、民族文化の血が流れており、優秀な伝統文化の滋養を受け継いでいる」との表現が2018年夏印刷104頁では「中国人として、私たち一人ひとりの精神文化には、中華民族文化の血が流れており、優秀な伝統文化の滋養を受け継いでいる」へと変更された。中国は56の民族からなる多民族国家であり、しかし漢民族がおおよそ9割を占め、残り55民族が少数民族とされるが、「民族文化」の文言が各民族の文化だと受け取られることを避けて「中華」の文化であると釘をさす変更だと受け取れる。この間2017年10月の中国共産党第十九回全国代表大会を機に「習近平による新時代の中国の特色ある社会主義思想」が党規約に記され、これを学ぶ運動が広がり、また党規約に、習近平が唱道した、中国の夢や人類運命共同体の文言が盛り込まれ、そして道徳教科書に盛り込まれている。中国国定道徳教科書の文言は、学習指導要領にあたる文書などの変更を経ずに、中国共産党全国代表大会を経た党規約を反映したと理解される。中国共産党規約の修正がすぐに学習の場に反映される感覚は、中国では当然のことと理解される。

これらは、日本流に言うと、在り方生き方、よりよく生きる喜びについて語っていることになる。その示す生き方は、中国においては個人の夢を国

家の発展や中華民族の復興に結びつけることだと明確である。

日本が新しいとして検定教科書に導入した、考え議論する道徳授業は、すでに中国の教科書に多用されている。生徒による学びを構成する問いかけ「探求と分かち合い」は、中国国定道徳教科書『道徳と法治』7年上において、次のように展開する。長いが引用を連ねる。第四単元各課のなかのタイトルの後、〈〉は、探求と分かち合いが登場する場のタイトル、その後に教科書のページを示す。挿絵は省略。「探求と分かち合い」の後には、3行から5行程度で、答にあたる考え方を書き込んであり、生徒と教員のオープンエンドの話し合いに任せてはいない、その意味で答えを隠してはいない。とはいえ、問いに重きをおいて話し合いを促す構成になっている。話し合いの形態は、一斉授業形式でも使える、しかし協同の学びの形式を前提すると思われる。

その記述の順序が、生命尊重の構成として、生命に限りがあると死を含む語りを最初に掲げ、精神の健全さを生命尊重に入れ、挫折にどう対応するかを経て、個人だけでなく社会における生き方、ひいては人類へとつなぐ構成は、傾聴に値する。各箇所使われる、日本流でいうと考え議論する道徳、中国国定教科書の探求と分かち合い、を軸に、また授業でどう扱うかを見るために教師教学用図書を参照しながら、見ていく。

第八課 生命を尋ねる

生命は永遠に続くか (89 頁)

〈生命には限りがある〉 (89 頁)

○探究と分かち合い

ある日、二人の女子が生命について感じたことを話しはじめました。

◇「私は四回『受難』を経験したことがあります。一回目、私は生まれた時、体重がとても軽くて、家族はみな私が生きられないだろうと思いました。しかし、お祖母さんが私を育ててくれました。二回目、私は幼い時、厄介な病気にかかりま

した。他郷で働いていたお父さんが帰ってきて輸血してくれたので、やっとのことで生命を救われました。三回目、私はご飯を食べていた時、不注意に魚の骨がのどに刺さりました。伯母さんが骨を取り除く方法を考えだしてくれたので救われました。四回目、私は歩いているとき危うく深い穴に落ちそうになりました。幸いお母さんが私をぎゅっとなつかせてくれたので、落ちずにすみました。」

- ◇「抗日戦争の時、私の曾祖母が負傷兵を背負っていると、身に着けていた水筒に銃弾が撃ち込まれ、水が流れ落ちました。もし銃弾がずれて曾祖母に命中していたら、私の曾祖父はいません。私のお父さんすらいないわけで、もはや私なんて存在しないことになります。」(挿絵として、若き兵士を助けて水筒を腰に、銃弾のなかを逃れる女性兵士が描かれる。)
- *二人の女子は、話の中で何か共通する感慨を表現していますか？
- *彼女たちの話は、自分の生命に対してあなたにどのような新しい認識をもたらしてくれましたか？

この部分の後、教科書がどう解説するか、抗日戦争となると日本では気になるだろうから記す。この部分の記述は、中国の道徳教育が示す歴史認識からすると屈辱の歴史を想起させるが、直接に日本批判を展開していない。教科書の 89 頁に意味が解説される：

生命は容易に生まれるものではありません。地球上では、多種多様な生命が競い合いながら自らの活力を示しており、生命は大自然の奇跡なのです。一人ひとりの生命も、数限りない偶然のなかで生まれたものであり、幸運のたまものなのです。

○探究と分かち合い (91 頁)

あの年、医者か父に、重病の祖母の余命があと半年しかないと告げるのを聞き

ました。この時、私は初めて身近に死に触れました。夜中静まり返った時、私はよく考えます。人はなぜ死ぬのだろう？人は死んだらどこかに行くのか、それとも本当に存在しなくなるのか？答えは見つかりません。もし死んだら、二度とアニメを見られなくなるし、アイスクリームも食べられなくなるし、仲間とも遊べなくなるし、願いすら持てなくなると思うと、本当に恐ろしくなります！私は、もし誰もが最後には死んでしまうのであれば、なぜ私たちは生きるのだろうと困惑せずにはられません。

私は書籍の中に答えを探し、少しずつわかってきました。死は、年月の有限、予測できない終わりを意味し、人を不安や恐怖、ひいては絶望を感じさせます。しかし、死という角度から現在の生命を見つめ直すと、当たり前のもや何でもないことが大切な素晴らしいものになってきたのです。その時から、私は毎日生命と真剣に向き合うようになり、日々は豊かで充実した有意義なものに変わってきたのです。

*一人ひとりの最後は、みな死です。では、どうして私たちは生きるのでしょうか？あなたの答えは何ですか？

*孔子は言いました「未だ生を知らず、焉くんぞ死を知らん」と。あなたはこれに賛成ですか？その理由を話してみましよう。

中国国定道徳教科書において死を生命尊重の最初に掲げる構成の意図を、教師教学用書は170頁で次のように示し、学習案指導例を示す：

設計意図：ある中学生が初めて死に触れた祖母の死とそれに対する彼の考えを示し、学生に死という角度から現在の命を見つめさせ、孔子の「未だ生を知らず、焉くんぞ死を知らん」という言葉や、ハイデッガー（Heidegger）の「死への存在」という哲学思考を出し、生命発展の

自然法則を学生に理解させ、死と向き合って生き、予知不能な生命に悠然と向き合い、生命を熱愛できるように導く。

教学案：

1. グループに分かれて討論する。（以下略—著者注）
2. 協力して探求する。（以下略—著者注）
3. 教育ディベートをおこなう。（以下略—著者注）

注意事項：

1. 授業の前に、学生に孔子が言った「未だ生を知らず、焉くんぞ死を知らん」の思想の内包する意味や哲学者ハイデッガー（Heidegger）の「死への存在」という哲学思想の智恵を調べ、理解させる。
2. “探究と分かち合い”活動は、学生が親族の死去の場面と結びつけ、心を痛める可能性がある。教師は学生の思いを十分に理解し、積極的に導き、教室の雰囲気うまく調整するように注意を払う。

中国の教師用教学書は、教室の雰囲気注意到するように促しながら、生命を愛するように導き、哲学思考、自然法則、生命に向き合うことを要請する。生命尊重といいながら死を避ける日本の教員には驚きだろう。授業方法としても、グループ討論、協同による調査探求、教育ディベート、が示唆され、教え込む道徳からの脱却が意図される。

〈生命を受け継ぐ〉（91頁）

○探究と分かち合い

*あなたの誕生は、家庭に何をもたらしましたか？

◇私の家族は、新たな役割を得ました。祖父母、父母、兄姉……

◇私の姉は、私が生まれてから「昇級」し、家の中で最も小さい人ではなくなった、と言いました。

◇私の名前には「賢」の字がありますが、これは家族の中の世代を示しま

す。祖父は私に、これから我が家にも「賢」の世代がきたと言いました。

◆私の場合.....

この探求と分かち合いについて教師教学用書は171-172 頁で、「個体の生命が家庭にどんな意義をもたらすかを学生に全面的に感じ取らせ、個体生命が一代一代入れ替わることにより人類生命（自然生命）が繋がっていく（連続していく）ということを理解させる」と述べる。一つのいのちの誕生が、家族の生き方なり方を変えるととの視点は、日本の生命尊重にとって重要な示唆である。日本の生命尊重は、命は一つしかないから大切だと語るモノトーンの危険に陥っているが、しかしこのモノトーンは、命が一つしかないのであれば、この命一つを絶てばすべてが消えるとの自死に至る思考、自死を止める力のない思考に傾かせる危険がある。その点、中国国定道徳教科書の記述は、世代の入れ替わりが、人類の生命の連続に繋がると、人類生存に繋いで個人の生を意義づける。

○探究と分かち合い (92 頁)

* 下の状況の中に、どのような生命の伝承を見てとることができますか？

「私は李子旭と申します。私の故郷は大西北で、先祖代々この土地で暮らしています。私は将来科学技術がわかる新農民になりたいと思います。」

「私は現在海外に住んでいますが、私の周りの多くの華人はみな誇りをもって自分は中国人だと言います。」

「私の父はモンゴル族で、母は漢族です。」

教師教学用書（172 頁）は、個人の生命が科学技術伝承や文化伝承、民族伝承など多方面の使命伝承に関わっていると説明し、学生に「個体生命は自然生命伝承上にあるだけでなく、精神文明の成果の上に伝承が実現していること、個体生命は人類生命の連続のなかで重要な意義があることを全面的に感じと」らせるようにと説明する。個人

の価値観に終始する日本の道徳教育にとって注目すべき視野である。

生命を畏敬する

〈生命は至上である〉 (94 頁)

○探究と分かち合い

2014 年、消息を絶ったマレーシア航空旅客機 MH370 便を探すために、26 の国々が飛行機や船、潜水艇、衛星を含む総額数億アメリカドルに達する国際協力を提供した。搜索に費やされる装備の1時間当たりのコストは、アメリカペンタゴンの国防専門家が提供した分析データによると、旅客機失踪後最初の1か月の搜索活動で、中国、オーストラリア、アメリカ、ベトナムなどの国々がインド洋と中国南海海域における軍艦や飛行機などのプロジェクトに約 4400 万アメリカドルを投入している。サルベージ専門家は、実際には政府当局が発表した数字の 3-4 倍が費やされた可能性を指摘している。

* あなたはこのように巨大な人力と物力、財力を費やして消息を絶ったマレーシア航空旅客機 MH370 便を探すことに価値があると考えますか？なぜですか？

○探究と分かち合い

1931 年、陶行知は太平洋会議の中で、外国人が「中国には捨てられるものは何もない、あるとすれば人の生命だけだ！」というのを耳にしました。陶行知は当時の中国の「堆積したごみの中に破れた布を探し求める老婆はいるが、道端で飢え死にかかっている子どもに声をかける人はいない」社会状況を見ていました。同時に、天然痘を発症した幼い我が子の生命を我慢強さと慈愛をもって救う母親も見ていました。彼は、この偉大な慈愛と冷酷な無

情がどうして共存しうるのか、この矛盾した社会をどう解釈すればよいのか、困惑を感じました。

このため、陶行知は注意を喚起する警告を發しました「中国は、いつになったら劣悪な状況から解放されるのか？人命は財産より尊く、人命は機械より尊く、人命は安楽より尊く、人命は名誉より尊く、人命は権力や地位より尊く、人命は何よりも尊い、そうなった時、中国はやっと立ち上がることができる！」と。

*あなたは、陶行知の困惑にどのように答えますか？

*陶行知の警告は、私たちに何を告げていますか？

社会状況の課題を取り上げて生命尊重を考える素材は、日本において必要である。特に厚生労働省の2017年人口動態統計(確定数)人口動態統計年報主要統計表第9表年齢階級別にみた選択死因分類・性別死亡数が、10歳代、20歳代、30歳代のいずれの年齢階級においても自死が死亡原因の第1位を占める日本の状況は、学校教育における生命尊重の課題とするべきである。学校教育における生命尊重は、10歳代、20歳代、30歳代のいのちの考えに責任がある。いじめによる自死の盾となり得る道徳教育のためには、生命尊重に関わる社会状況を避けてはならない。

社会状況の課題を取り上げて考えさせる、あるいは孔子とハイデッガーを対比して考えさせる、あるいは、事例を挙げて「自分の身の危険を顧みずに他の人を救うことは、自分の生命を大切にしないことでしょうか？」と問う³⁸一連の思考の流れを導く手法は、道徳におけるPISA型の学力形成を志向していると受け取れる。すなわち、道徳におけるケイパビリティを、知識、スキル、心理的また社会的リソースを使って複合的な状況での挑戦を成し遂げていく力量³⁹と規定したとき、志向しているのは、多様な考え方を整理し、社会状況の中で道徳上の価値を実現していく課題解決型

の能力育成として理解できる。道徳におけるケイパビリティは、道徳教育の考えるべき方向である。中国の国定道徳教科書は、さまざまな考えを並べて、学生が協同で話し合い、探求する形を、死のテーマに限らず多用する。

○探究と分かち合い (95 頁)

一台の公共バスが突然発火し、満員の乗客が車内に閉じ込められました。多くの人々が危険を顧みず進み出て救助にあたりましたが、遠くから眺めながら非難する人もいました。

*自分の身の危険を顧みずに他の人を救うことは、自分の生命を大切にしないことでしょうか？

〈喜びと悲しみを共にする〉 (96 頁)

○探究と分かち合い (97 頁)

席を譲る 私はあなたの杖
しゃがむ 付き添いと分かち合い
(それぞれ挿絵で示される)

*上の4つの状況をそれぞれどのように感じますか？

*上の異なる状況からどのような共通する態度を見て取ることが出来ますか？

第九課 生命を重んじる (99 頁)

生命を守る

〈身体を大事にする〉 (100 頁)

○探究と分かち合い

偉さんはサッカーをするのが好き、サッカーの試合を見るのも好きです。サッカーのワールドカップが開催されている間、彼はいつもこっそりと夜中に起き出し試合テレビで試合を観戦し、ネット上でサッカーファンの友だちとチャットし、朝慌てて学校に行きます。ある日、体育の授業でジョギングしていた時、偉さんは躓いて倒れ、病院で緊急措置をうけて危険な状態から脱することができました。

偉さんの状況について、クラスメートは

自分の意見を発表しました。

「私は、自分の一部の習慣が健康に良くないことはわかっていますが、なかなか変えられません。」

「健康は、もちろん重要ですが、ちょっとした悪い習慣が体に及ぼす影響は、そんなに大きくないでしょう。」

「母は生活の細部が健康に影響すると言います。これは筋が通っていると思います。」

*自分の経験と結び付け、あなたの考えや意見を言ってみましょう。

○探究と分かち合い

*学習や生活経験を結び付け、関連する資料を収集し、以下の災害や災難において自分で自分を守る方法を検討する。(この、探求と分かち合い、は項目以外空白になっており、書き込む表が示されている。)

火災発生	1.	2.	3.
4.		
交通事故発生	1.	2.	3.
4.		
地震発生	1.	2.	3.
4.		

*上の方法を結び付け、災害や災難が起こった際に身を守る模擬訓練をしましょう。

この、災害や災難に遭遇した場合についての探求と分かち合いの教師教学用書(192-193頁)の記述は具体的である。

設計意図：学生が災害や災難に遭ったとき、自分を守るよう、基本的な事故救護方法を理解する。

教学案：

1. 資料を収集する。(略)
2. グループに分かれて交流する。(略)
3. 総括する。学生が交流し分かち合うなかで、教師は学生を明確に指導する。「災害や災難に遭ったとき、自分の恐怖心をコントロールし、理性的に迅速に正しい選択をし、的確な

救護方法を用いる。どんなことがあっても生きる希望を棄てず、可能な条件の下、最も有効な方法を使って他の人や社会の助けを求める。」

4. 模擬訓練をおこなう。(略)

注意事項：

1. (略)教師は、災害発生時にうまくいった救護方法の事例や写真、ビデオなどを準備し、学生が基本的な自己救護方法を理解する手助けをする。
2. 模擬訓練をおこなう際は、冷静沈着に秩序をもっておこなうよう指導する。学生が避難した後、統一の指揮命令に従い、迅速に指定の場所に集まり、人数確認をおこなう。実際の状況にあわせ、クラスで救護班を組織し、班長1名、副班長2名、組員5名に教師を配して救護活動をおこなう。

中国国定教科書は、身体健康、生活習慣、救護訓練を道徳教育教科書の生命尊重に組み込むだけでなく、精神健康についても記述する。次の強制収容所の例がその一つである。またその後に見るように、5回にわたって挫折と挫折からの回復(レジリエンス)について重厚に扱う。この体系的性は、日本式の values education では難しい。中国の道徳教育は行為を求めるが、日本では道徳授業において扱う事柄を態度に止め行為を扱わない原則から、体系的な命を守る行動には、特別活動など他との関連を記述する、あるいは避難訓練や保健体育、家庭科など他教科・特別活動と関連させた道徳授業を仕組む、言い換えれば、教科書を教えて済ませる道徳授業では対応し難いことから教科書の小話にとらわれず、学校行事や他教科と繋いだ道徳教育課程を編成する必要がある。子どもを預かる以上、安全、言い換えれば子どもを身体的にも精神的にも死なせないことが学校の眼目であるはずである。

精神を養い守る

○探究と分かち合い (102頁)

強制収容所に遺された児童画

第二次世界大戦中、テレジーンの名画展のナチス強制収容所で、フェレートというユダヤの女性画家が、収容されているユダヤの子どもたちと一緒にこっそりと絵を描いた。彼女が当時収容されていた多くのユダヤ人画家と異なっていたのは、子どもたちに絵筆を使って収容所の地獄のような生活を記録させるのではなく、子どもたちを励まし、花や人物、窓の外の風景などを描かせたことだ。その後、彼女と彼女が教えた多くの子どもはナチスによって殺害された。第二次世界大戦終結後、収容所の悲惨な生活を記録した絵画が発見され、ユダヤ民族に対するナチスの犯罪の証拠とされた時、なぜテレジーン収容所の子どもたちの絵画が依然として美しいのか、多くの人々は理解できず、受け入れられなかった。現在、これら子どもの作品はプラハのユダヤ博物館に収蔵・展示され、「人類文化の王冠上のダイヤモンド」と称されている。

*収容所で、女性画家フェレートは、なぜ子どもたちに花や人物、窓外の風景を描くことを教えたのでしょうか？

*子どもたちの作品は、なぜ「人類文化の王冠上のダイヤモンド」と称されているのでしょうか？

現在のチェコのテレジーン（ドイツ語名テレージェンシュタット）の児童画には以下のように説明され、103 頁に探求と分かち合いが設定される。

私たちの精神の発育には、物質的な支えが必要ですが、物質的な生活条件や外部環境の制約を受けるだけではありません。たとえ物質的に困窮し、外部環境が苦しい状況でも、私たちは自分の心を守ることができ、依然として真なるもの・善なるもの・美なるものを見いだすことができます。過度に物質を追い求め、物を比べて見ることは、かえって、真・善・美の体験を喪失させ、精神世界の豊かさを失わせます。

○探究と分かち合い

共青团（共産党青年団）新団員入団宣誓
博物館参観 経典朗読 ジャスミン茶製造
*あなたは、これら或は類似した活動に参加したことがありますか？あなたの体験や感想を話してみましょう。

生命の強靭さを増す

〈生活に挫折はつきもの〉（105 頁）

○探究と分かち合い（105 頁）

「両親は出稼ぎに行き、長らく家に帰ってきていない、本当に両親が恋しい！」

「試験の成績が悪くて、また叱られた。」

「他の人が相手にしてくれず、孤独だ！」

上のような状況のなかにあつて、

*あなたは、どれが挫折で、どれは挫折ではないと思いますか？なぜですか？

*あなたがかつて経験した挫折を話してみましょう。あなたが挫折だと思っていることが、他のクラスメートの目にも挫折と映るでしょうか。

生命を考える単元で、生き方に向かうために、挫折を取り上げる編集は行き届いている。どう取り上げられているかを知るために、教科書の 106 頁に書かれた説明とリンク、引き続く、探求と分かち合い（106 頁）を掲げる。

異なる挫折に向き合い、異なる人が異なる感じ方や異なる反応行動をしています。たとえ同じ挫折でも、人の情緒的な受け止め方や反応行動は異なっています。同じ人でも、時期によって、挫折に対する異なる受け止め方や反応行動が起こります。これらの主な原因は、人々の挫折に対する認識や態度が異なるからです。

○リンク

一般に挫折には 3 つの面（境遇・認知・反応）が含まれる。（図示による説明は省略）

○探究と分かち合い（106 頁）

*あなたが挫折に遭遇した時の気持ちを選

んでください（たくさん選んでよい）。

うろたえる いきどおる 焦燥感
悩む あわてる 緊張する
心配する 落ち込む 弱気になる
悲しむ あせる ……

*挫折に直面した時、あなたはどのような行動をとりますか？

○探究と分かち合い (107 頁)

エジソンは、電球を研究開発する際、何度も失敗しました。一千種余りの材料を使ってフィラメントを作った時、助手は彼に「もう一千回以上失敗しました。成功の見通しは立ちません。もうやめましょう！」と言いました。しかし、エジソンは「これまでの収穫は、なかなかのものだ。少なくとも一千種余りの材料でフィラメントができないことが分かった。」と言いました。最後、数千回の実験を通して、彼はついに成功したのです。

*エジソンの話から、あなたはどのような示唆を受けましたか？

〈生命力を発掘する〉

○探究と分かち合い (108 頁)

*自分が挫折に遭遇した時を振り返り、下の活動を完成させる。

(注：項目の後に書き込むようになっている。)

- 1 私が挫折に遭った時：
- 2 挫折に直面し、容易に生まれた消極的な考え：
- 3 如何に消極的な考えを調整するか？
- 4 挫折に至った原因を分析する。
 - ① 外的要因：
 - ② 内的要因：
- 5 どのような要因は自分で変えることができないか？
これに対する、積極的なやり方：
- 6 どのような要因は自分で変えることができるか？
これに対する、積極的なやり方：

○方法と技能 (109 頁)

生命の強靭さを増強する方法

- 1 ユーモアのセンスを高く評価し、養う。
- 2 自分が信頼する人と語り合う。
- 3 最悪の結果を考え、受け入れる。
- 4 他の人を思いやり、助ける。
- 5 その方面の興味を培う。
- 6 ……

第十課 生命の花を咲かせる

生命の意義を感じ取る

〈生命を追及する〉

ここに、人民解放軍兵士で 22 歳にして亡くなった雷鋒がトラックとともに映っている写真と日記が示される。その直後に以下の、探求と分かち合いが続く。

○探究と分かち合い

ある人は、他人のために生きるなど言い、またある人は、他人のために生きてこそ生命に価値があると言います。

*あなたの考えを話し、クラスメートと交流して分かち合いましょう。

探求と分かち合いによりクラスメートと交流した後、どのような一生に価値があるかの説明が、2019 年に修正され詳しくなっており、おこなわれる。教科書では、探求と分かち合いに見るように、人民軍兵士として他の人のために犠牲となった死を、「責任を果たす」「個人の理想を国家の発展や民族の復興、人類共同体と結びつけることができること、このような一生は価値があります」と、身体・精神の健康、挫折からの回復の後に、いわば生命の在り方生き方として、称揚する。雷鋒は、小学校 1 年生から示唆されていた英雄烈士である。教師教学用書 (210-211 頁) は、「生命の価値は、自分のために生かすだけでなく、人のために差し出すことにもあることを認識するよう導く」と解説する。しかし教科書は、雷鋒の生き方を一方的に押し付けてはいないと受け取れる。探求と

分かち合いの後に続く説明に見るように、選択できる、多様な生、を認める。

〈私の生命に気づく〉 (113 頁)

○探究と分かち合い

下の絵の流れ（流れる川の挿絵を示す一引用者注）は、あなたの生命線を代表しています。スタート地点に、あなたが生まれた時の写真を貼り、最後に直近の写真を貼ります。あなたが生きてなかで、何か重要なことが起こりましたか？生命線上の一点に起こった時間を表示し、波しぶきに、起こった内容を簡単な言葉で書きましょう。

*その経験は、あなたの生命にどのような意義をもちましたか？

*クラスメートと生命の話をつかち合ひましょう。これら異なる生命の話から、あなたは何を考えますか？

生命の意義を探し求めることは、人類の生命にとって原動力の一つになります。人類だけが自分の生活の舵をとることができ、自分の人生を選択できるのです。

生命は独特であり、生命の意義は具体的です。一人ひとりの生活が異なるだけでなく、私たちは皆自分の生活経験の一点一点において自己を構築し、いわゆる「私の人生」を形成していくのです。

中国国定道徳教科書では、子どもの心理を扱う上での配慮もおこなわれる。流水に例える個人の生命の物語には、「学生の生命の物語には、個人のプライバシーに関わることがある。教師は学生に、言いたくないことは言わない選択肢があること、他のグループのメンバーには秘密を守るように注意を促す」と注意事項を挙げ、またもう一つの注意事項で「一部の学生が回顧したなかにはネガティブな内容があり、他の人から批判されるかもしれない。教師は学生に、自分への影響を考え、もしメンツがつぶれ、人に馬鹿にされると心配したとしても、自分には受け止める能力があり、自

分で気を晴らすことができるよう導く」と述べる。腫れ物に触らない配慮ではなく、受け止める強さを育てる要請が目を見く。

○探究と分かち合い (114 頁)

ある地域の学習センターでは、ボランティアが毎週末やってきて、地域のお年寄りや子どもたちに英語を教えます。なぜこの活動に参加しているのか参加者に尋ねると、彼らはそれぞれ異なる回答をしました。

「私は中学に上がった時からずっと心ある人から物質的な援助を受けました。今は仕事をするようになり、他の人を助け、社会にお返ししたいと思います。」

「もし私が半年間やり続けたら、地域からボランティア表彰メダルをもらえます。」

「私はいま地域の『感動した人物』選出活動に参加しているので、皆さんにたくさん支持してもらいたいと思います。」

「私は会社で働いていて、一週間のうち五日を他の人のために働いているので、週末の二日間は、自分のためになることをしたいと思います。」

*このボランティア活動で、彼らはどんな異なる意義を見出していますか？

*このようなボランティア活動は、あなたにとってどんな意義がありますか？

〈貧しさと豊かさ〉

○探究と分かち合い (115 頁)

16 歳の時、河北、湖南などの多数の学生の小さな発明が、国家の特許を獲得した。

16 歳の時、山西の学生麗さんは、一家を背負い、学校に行きながらお祖母さんや病気の養父を世話した。

16 歳の時、安徽の大工学校生は、中国伝統木彫工芸を伝承し、作品を作り上げた。

16歳の時、……

*みんな16歳の学生で、生活環境は異なりますが、共通している点があります。彼らの共通点は何か話してください。

*あなたは16歳の自分がどうなっていて欲しいですか？

およそ13歳の学生に3年先の自分をイメージさせ、現在を考える手法は、岡崎耕・上菌恒太郎の「未来からのふり返し」⁴⁰である。ここでは単に16歳の自分をイメージするところに止めているように見えるが、共通点としての各人の資質は現在に通底する。未来の価値ある自分から現在をふり返るやり方は、授業として自己肯定感育成に有効である。中国国定教科書は、未来からの振り返りを授業手法として取り入れている。

○探究と分かち合い (116頁)

*クラスメートと交流する：如何にして生命を豊かにするか？

良書を読む。

自分の好きなものや興味あることに専念する。

家を出て、他の人の異なる生活の仕方を知る。

旅行をし、異なる風土や人情に触れる。

……

〈冷淡と親切〉

○探究と分かち合い (116頁)

☆一人の老人が突然倒れたが、通行人は遅くなるのを恐れて避けて行った。

☆雨の日、一人の松葉の杖男の子が突然倒れた。しかし、数人の学生が傘を差しかけ、“120”に電話をて助けを求めた。

全国各地のネットユーザーが、次々にコメントを書き、討論し、「冷淡をやめ、温かさを伝えよう」と提唱し、暖かい中国人になり……

*二つの状況を結び付け、「暖かい中国人になる」についてのあなたの認識や考えを話してください。

○探究と分かち合い (117頁)

*生命の温もりを伝えるために、あなたは何をしたいですか？

私は、困っている人を助けたい。

私は、できるだけ家事を手伝って、家族に少しでも休む時間を作ってあげたい。

私は、毎年木を一本植えて、故郷に緑を残したい。

私は、機会を見つけて、ボランティア活動に参加したい。

私は、……

私は、……

私は、……

私は、……

〈平凡と偉大〉

○探究と分かち合い (118-119頁)

Pavel Korchagin はロシア作家オストロフスキーの作品『鋼鉄はいかに鍛えられたか』の中の主人公です。(レーニン勲章受章者の自伝的作品。十月革命直後の国内戦で、故郷の町がドイツ軍や白軍に占領されるなかで、一人の青年が、負傷と病気のハンディを克服しながら赤軍の活動を助け、再建部隊の指揮官になり、不屈の意志と勇敢さを成長させた物語。なお教師教学用書 215-216 頁には他の偉人の物語を選択してもよいと注意事項がつく。中国の英雄烈士ではないからだろう、あるいは中国各地方の英雄烈士を登場させるとよい、との意図か。—著者注)

*Pavel Korchagin の物語を知っていますか？彼はなぜ生命をこのように理解したのでしょうか？

李時珍は薬学著作『本草綱目』を著した。

ワットは蒸気機関車を改良した。

魯迅は『狂人日記』を創作した。

時傳祥⁴¹は普通の労働者の模範となった。

偉人に比べ、多くの人は無名かもしれませんが。無名の生活に意義はないのでしょうか？人々は生活のために努力し、一日また一日、一年また一年と、生活苦の試練を受けながら、放棄することなく、たゆまず、家族の素晴らしい生活や社会の発展のために貢献する時、まさに、まじめに、勤勉に、善良に、たゆまず、責任を持って、勇敢に生命の価値を刻んでいるのです。

○探究と分かち合い

「最も美しい補修員」

「最も美しい運転手」

*線路補修員や大型トラック運転手はみな平凡な職場で仕事をしています。なぜ人々は彼らを「最も美しい」と思うのでしょうか？

中国国定道徳教科書は、この後に次のように解説を記す：平凡な生命も、時に偉大な創造をすることができます。私たちが個体の生命を他の人や社会、集団、民族、国家ひいては人類の運命と結びつけたとき、生命は平凡ななかから偉大なきらめきを見せるのです。これを学生への最後のメッセージとして、老人の話聞き思考空間を広げるように促して、『道徳と法治』七年級上冊が終わる。

教師教学用図書(216頁)は、生命尊重の最後の「探究と分かち合い」について次の注意を促す：学生は普通の人の生命の価値をラベリングしやすい。教師は、普通の人で典型的な人物だけが、まじめさ、勤勉さ、善良さ、粘り強さ、責任感、勇敢さなどの品格を備えているのではなく、社会の多くの人々が皆このような品格を有し、平凡な職場で黙々と奉仕していることを認識させる。青少年学生は積極的に学習し、このような優秀な品性を備えなければならない。

中国国定道徳教科書は、体系的に子どもを育成

し、励ます。9年級下冊は、私たちが「地球村」に住んでおり、人類運命共同体を創っていくとの方向を打ち出し、世界の舞台に立つ中国にスポットライトを当て、その舞台に共に進んでいこうと子どもたちに呼びかける。アヘン戦争、日本軍の侵略という屈辱の歴史から、中国共産党の指導によって小康状態を得、さらに人類運命共同体を構築する舞台へと出て行く中国の国づくりに招請する、と語りかけられて、自分もその舞台に参加したいと首肯する若者は多いだろう。7年級上冊の「私たちが個体の生命を・・・国家ひいては人類の運命と結びつけたとき、生命は平凡ななかから偉大なきらめきを見せる」との台詞は、9年級下冊の終わりにまで響いている。その例が、人民解放軍の一人のトラック運転手、最も美しいと形容され、英雄烈士とされた雷鋒である。

背景に、中国共産党第19回全国代表大会(第19回党大会)の『中国共産党規約(改正案)』に関する決議があり、中国の発展が人類運命共同体の構築であるとの論理が示される。曰く：社会主義民族関係を守って発展させ、祖国の統一を推進し、人類運命共同体の構築を推し進める・・・すると、「習近平新時代における中国の特色ある社会主義思想」によって、中国「小康社会の全面的完成の決戦に勝利し、新時代の中国の特色ある社会主義の偉大な勝利をかち取り、中華民族の偉大な復興という中国の夢を実現」⁴²する舞台に子どもたちを招請することに義務教育段階の最終学年の道徳教科書すべてをあてることは中国道徳教育の当然の帰結になる。中国国定道徳教科書第9年級下冊は以下のように構成される。こうしてみると、中国において、生命の花を咲かせる生命尊重がどういうことか、明らかであろう。

以下に『道徳と法治』9年級下の目次を挙げる。

義務教育教科書 『道徳と法治』9年級下 <目次>

第一単元 私たちが共有する世界

第一課 地球村に同居する

相互に開かれ影響し合う世界

- 複雑で激しく変化する関係
- 第二課 人類運命共同体を構築する
平和と発展を推し進める
Win-win の相互利益を追求する
- 第二単元 世界の舞台にたつ中国
- 第三課 世界と緊密に繋がる
中国は担う
世界と深く影響し合う
- 第四課 世界と共に発展する
中国の好機と挑戦
提携して発展を促進する
- 第三単元 未来に向かって進む少年
- 第五課 少年の担当
世界の大舞台に向かって進む
少年は自ら励む
- 第六課 卒業の季節
学びに終わりはない
多彩な職業
- 第七課 ここから出発する
成長を振り返る
未来に向かって進む

『道徳と法治』9年級下最終頁(92頁)は、子どもを励まし、以下のように締めくくる。

卒業への過程は、絶えず成熟に向かう過程でもある。私たちは自信を持ち、憧れを抱き、学友の友情や教師の祝福、両親の期待を携え、新たな道程へ踏み出す。

準備は整ったか？

私たちは、未来に向かって出発しよう！

<空間を拡張する>

(9年級と思われる制服姿の男女が駆け出す写真と共に)

梁啓超は『少年中国説』の中で説く：
(一文略) 少年が聡明であれば我が国は聡明である、少年が豊かであれば国は豊かである、少年が強ければ国は強い、少年が独立すれば国は独立する、少年が自由であれば国は自由である、少年が進歩すれば国は進歩する、少年が欧州に勝れば国は欧州に勝る、少年が勇

ましければ国は勇ましい、少年が地球を支配すれば国も地球を支配する。(中略) 美しきかな、我が少年よ、天と共に老いず！ 壮なるかな、我が少年よ、国と共に限りなし！

*上の文を朗読し、中華民族の偉大なる復興という中国の夢を実現するために、私たちはここからどのような力を汲み取ることができるか話してみよう。

III. 結語

国慶節を前にすると中国で頻繁に流される歌に「紅旗飘飘」がある。国旗「五星紅旗」を讃える歌で、「あなたの名前は私の命よりもっと重要だ(你的名字比我生命更重要)」と4回繰り返される。この歌の高揚感からすると、中国の国定教科書の生命尊重の記述は抑制されている。しかし、アヘン戦争から抗日戦争と続いた屈辱の歴史から中国が中国共産党の指導者のもとで滅亡から救われ、その過程を担った英雄烈士を称揚するのは当然であり、彼らによって中国は今日小康(少しゆとりのある)社会に至っていると物語の揺るぎなさ、英雄烈士保護法の制定による偉大な人物の不可侵、雷鋒に見るような体系性、また「死への存在」として「予知不能な生命に悠然と向き合い、生命を熱愛できるように導く」(教師教学用书、171頁)構え、「最も美しい」線路補修員やトラック運転手の賛美は、「紅旗飘飘」高揚感の基盤となる。中国国定道徳教科書の生命尊重が準備する基盤は、道徳教育体系の最終冊である『道徳と法治』9年級下の高揚感へとつながっており、その道程は中国共産党第19回全国代表大会の決議に導かれている。

体系化された中国国定道徳教科書は、2020年にその全貌を現すはずである。この教科書体系で、専任の教員が教え、子どもを評価する、中国の道徳教育は力強い。比べると日本の道徳教育は、戦後の出発以来、変わらず控えめである。控えめさは修身科の反省を基盤にしている。とはいえ、中国国定道徳教育の力強さには、学ぶ点がある。同時に、日本の道徳教育が何を柱とすべきかを考え

させる。以下、日本の道徳教育にとって注目すべき中国国定道徳教科書の生命尊重、ならびに中国道徳教科書を越える可能性について 10 点を挙げ、論じる。

1 つは、中国国定道徳教科書が死を生命尊重の記述の冒頭に掲げる点である。行きつくところ、いかに生命の花を咲かせるかに繋いでおり、第 7 学年上册生命的思考の単元の最後は、平凡な生でも、個人の生命を他の人や社会、集団、民族、国家ひいては人類の運命と結びつけたときに「美しい補修員」「美しい運転手」になると結ぶ。この構成は必ずしも日本の教育勅語のように「一旦緩急アレハ」と、国家のために生命をと押しつける形ではないが。

死を取り上げる必要は、日本においてある。2017 年の厚生労働省の人口動態調査が示す青少年の自死の多さに対応するためには、道徳教育の生命尊重において死と向き合うことを避けるべきではない。日本における 1958 年の道徳の時間の特設が子どもを死に至らしめないという含意から出発し、社会的にすでに、明治 35 年から昭和 20 年まで修身の教科書に掲載された木口小平の「シンデモ ラッパ ヲ クチ カラ ハナシマセンデシタ」という死の賛美とは決別したのだから、国家と結ぶ死とは異なる、個人の生を支える生命尊重を、死を扱って展開する課題が日本の道徳教育にある。この課題に向き合って、いじめによる自死の盾となる道徳授業を構成することができる。2015 年 3 月に小学校および中学校の学習指導要領等を改訂して「特別の教科 道徳」にした趣旨が、「いじめの問題への対応の充実」⁴³である時、中学校学習指導要領解説総則編が改訂の経緯において「いじめの問題に起因して、子供の心身の発達に重大な支障が生じる事案や、尊い命が絶たれるといった痛ましい事案まで生じており、いじめを早い段階で発見し、その芽を摘み取り、全ての子供を救うことが喫緊の課題となっている」⁴⁴と認識する時、道徳科はいじめによる子どもの死を防ぐ授業の筋道を示す責任がある。その際、子どもの死の意識のありよう⁴⁵を根拠に、死を扱い、生

き方なり方を語る必要がある。

2 つには、日本においても道徳教育の各価値の結節点を意識すべきである。中国では総合課程化により徳目を並べて教える道徳教育を抜け出したが、その体系的統合に 3 点ある。

- (1) 生命尊重の単元に見たように、価値を単元として集約する点にあり、
- (2) 教科を統合した総合課程として道徳教育を編成する点であり、
- (3) 中国共産党の方針へと各学年の記述ならびに教科書を統合する点にある。

これに匹敵する日本の道徳教育の体系性は、以下のように考えられる。

- (1) 価値を並べて教える values education は、各学年で繰り返すよさがあるが、生命尊重のような重点価値は、単元として構成する課程編成を考える。
- (2) 複数の教科の場で繋がる項目として教科間の連携によって価値を扱うことが、子どもの意識において繋がりのある道徳教育になる。
- (3) 道徳教育は子どもを育てたいのだから、子どもの自己肯定感を結節点として価値を統合する道筋を示すと、日本流の values education が力強くなる。

道徳教育の体系性は、民主主義を標榜する日本においては、子どもの意識へと、それも子どもの自己肯定感へと、価値を繋ぐ統合に意味がある。道徳教育が育てたいのは、自分で考え判断する子どもであり、子どもの自己肯定感育成に各価値を繋ぐとき、values education のばらばらが解消され、諸価値が子どもに焦点化される。1958 年の学習指導要領は、生命尊重へと諸価値を集約する意図を見せたと理解できる。それは当然、子どもの生命の尊重であり、これを子どもの意識において育てる道徳教育が自死を防ぐ盾になる。今日、子どもの自己肯定感への価値の統合が、子どもの生命を失わない道徳教育になる。自己肯定感育成を、道徳教育の目的としていい。その際、安全、食物、身体の健康、精神の健康など、各教科が担

当するところと繋いで、子どもの学ぶ場における価値を関連させて統合を図ることが有効である。さらに、重点価値を複数の授業による単元として、各学校や学級の状況にあわせておこなう、言い換えれば子どもの必要に合わせておこなう課程編成が有効であろう。生命尊重の価値を扱って自己肯定感の育成に至る深い授業が可能であることは、上菌恒太郎らによってすでに実践されている⁴⁶。すべての道徳上の価値と教科と特別活動と総合的な学習⁴⁷とが、子どもの自己肯定感へと向けられて、学校教育全体で統合された命の教育を構成することができる。

3 つには、**問い**に重きをおいた構成が、深く考える道徳教科書を構成する。これは価値を教える道徳授業から抜けて、PISA 型のケイパビリティを育てる道徳教育の方向を示していると理解できる。中国国定道徳教科書の〈探求と分かち合い〉は多く、問いとして構成されている。中国の国定道徳教科書の〈探求と分かち合い〉は、問いとして、異なる思考を並べ、協同で考えるように工夫されている。その一つに、中国の現実を問題提起とする記述のやり方を、見てとることができる。

日本は、価値判断として結果する答えの多様を良しとする社会を構成するのだから、問いから答に至る思考過程に重きをおいた道徳の時間を編成すべきだということになる。答の多様性から民主主義とイノベーションが育つだろう、これは日本の発展に資する。

4 つには、心理的な配慮、心理的な見地からの自己分析、導き、そして**挫折**について中国の道徳教科書が手厚く扱う点を、学んでいい。中国国定道徳教科書は、挫折に関する記述に厚みがある。

日本で心理学と結んだ要素は、ジレンマ授業、グループ・エンカウンター、モラル・スキルトレーニングなど、道徳授業の方法として取り沙汰されることが多いが、教育学と心理学が手を取り合って授業の背景を固めた教科書記述を志向している。日本の道徳教科書に必要な一つは、挫折そしてレジリエンスに関する記述であり、挫折のない人生はないのだから、またいじめと 10 歳代、20

歳代、30 歳代における自死の多さに対応するために、子どもが自分を意識的に支える方途を道徳教科書に描くべきである。

5 つには、授業の方法として、グループ学習あるいは**協同の学び**を前提にした授業資料を勧めていい。中国国定道徳教科書は、一斉授業でも使えるように構成されているが、そして筆者が毎年のように訪れる限り授業者中心にやりとりする形が多いが、グループ学習や協同の学びの形を導入して子ども同士で話し合い探求するように構成されている。

日本の教科書の現在の小話を、授業の方法としてグループで話し合うに止まらず、協同で解決へと向かう課題を、必要な場合には社会問題を提示していい。社会問題、地域の課題を共に考える道徳教育の姿勢は、道徳の時間が社会科と離れて以来、道徳の独自性を主張しながら教室のなかでの小話に終始して影を薄くしているが、態度への意識で寸止めする道徳に現実性を導入することは、道徳教育を活性化するだろう。道徳授業が扱ってきた個人の課題は、いずれ社会とのつながりにおいて共有され解決される必要がある、社会において個人は成立しているのだから。道徳教科書が、民主主義の社会を構成する一人の責任ある市民として考え、判断するところに踏み込んでいい。協同も、学習方法であるばかりではなく、民主主義社会の形としての意味合いがある。

6 つには、**夢**の扱い方の相違を挙げておきたい。日本の小学校学習指導要領（平成29年3月告示）に、夢の記述はない。中学校学習指導要領には、2カ所、美術において登場する。しかし、2017年7月の小学校学習指導要領（平成29年告示）解説特別の教科道徳編において14カ所、同じく2017年7月の中学校学習指導要領（平成29年告示）解説特別の教科道徳編においては8カ所登場する。とはいえ、日本の学習指導要領は児童生徒の夢の一言では不安らしく、合計22カ所の夢のうち16カ所で「夢と希望」として、希望と組み合わせて使われる。夢はむしろ「夢と現実との違い」⁴⁸あるいは「現実離れしていることもある夢」⁴⁹、

「夢と現実との違い」⁵⁰の文言に見るように、現実と異なる夢を警戒する。日本の学習指導要領解説の道徳編は、夢と現実のギャップを二分法で描き、「困難や失敗を乗り越え」⁵¹あるいは「自分の弱さを強さに、醜さを気高さに」⁵²と、いずれも個人の課題として設定され、ネガティブなものをポジティブにする点に道徳としての意味を成立させようとする。そこには、夢によって社会の現実を変えるイノベーションの発想は見られず、また正否の二項対立という近代西欧の思考による単純化が忍び込んでいる。個人の夢を中華民族の夢として吸収し国家に統合しようとする中国の構えから見ると、道徳教育の結節点の構想、そして責任を個人に置く日本の思考には、個人の夢を社会統合へと飛躍させる構想が見られない。日本の国家と教育行政は、夢を語る力を失って、命令するだけの老化に陥っているように見える。

7 つには、中国の道徳教科書の視野が**人類**にまで広がっている点である。『道徳と法治』九年級下冊は第一単元の目次に「私たちが共有する世界」として第一課「地球村に同居する」、第二課「人類運命共同体を構築する」と記述する。第9学年の第二単元は「世界の舞台に立つ中国」であり、第三単元が「未来に向かって進む少年」である。こうした気宇壮大さは、15歳前後の生徒の意識を高揚させるだろう、そして人類運命共同体を構築しようと呼びかける中国の国家建設参加に胸躍らせるだろう。それは、2017年10月24日の中国共産党第19回全国代表大会の『中国共産党規約（改正案）』に関する決議が呼びかける「祖国の統一を推進し、人類運命共同体の構築を推し（新華社通信訳のままー引用者注）進める」⁵³に基づく。中国共産党にとって、祖国の統一の推進が人類運命共同体の構築とそのまま繋がる。これをアジェンションと評することはできる、しかし現在の中国の雰囲気を実現している。

8 つには、中国の道徳教科書の生命尊重が扱わないが、日本において取り上げるべきテーマとして、ゲノム研究、化学肥料、エネルギー、兵器（原子爆弾だけでなくゲノム改変による生物兵器

やAIロボット兵器）などを含む、科学技術の在り方を考えることを挙げておく。近代が生みだした科学技術による人間の殺戮を考えると、戦争に用いられた（る可能性のある）原子爆弾、水素爆弾、クラスター爆弾などの兵器だけではなく、水俣病、イタイイタイ病、四日市ぜんそく、PM2.5など粒子状物質、マイクロプラスチックによる海洋汚染、石炭・石油エネルギーなど化石燃料使用、つまり人間の在り方生き方が地球と生物の多様性と人類の生存に回復不可能な影響を及ぼす人新世（Anthropocene）に至っていると考えるとき、人間の生存に関わる課題として、**科学技術の在り方を考え判断する市民の育成**⁵⁴を道徳教育として目指す必要がある。

科学技術を判断する市民の育成は、疑似科学に惑わされる日常生活を見直す契機になる。文部科学省自身が江戸しぐさを歴史上の根拠のないまま道徳資料として取んだ愚を避け、子どもたちが科学に裏付けられた思考をするためにも、科学技術の在り方を考え判断する市民の育成が必要である。広がった疑似科学⁵⁵、血液型と性格、マイナスイオンと健康、水からの伝言、脳と疑似科学を取り上げて、科学上健全な思考によって道徳を成立させることを、考え議論する道徳授業に含めるべきである。科学技術を理解し、科学上妥当な思考のできる道徳性の育成は、ちょっといい小話によって気持ちと雰囲気の流れる道徳風よりも、個人と人類にとって意義がある。

こうしたテーマを取り上げるとき、科学技術に関わる教科だけでなく、経済活動に関わる教科、生活に関わる教科を、道徳の課題として取り上げる視野の広さをもつていい。人新世において、各教科も、教科間の棲み分けによる互いの平穏ではなく、人間の生き方を結節点として教科を統合する教育課程編成が求められる。その点で、日本の道徳教育は先進的であっていい。人類の過去を振りかえる道徳上の反省は、人類の未来に繋がる。国連加盟国193カ国が2030年までに掲げた多様な目標SDGs（Sustainable Development Goals）は美しい言葉を並べるが、日本と世界が考えるべ

き課題と目標を示しており、子どもが人類の一員として考え、行動すべきテーマのリストである。これを道徳における個人と人類の関係が重なる在り方生き方として、考えるべき価値として扱う授業を構想している。

9 つには、日本において取り上げるべきテーマとして、**子どもの権利を含む人権**を挙げておく。道徳教育が子ども個人の話に閉じこもらず、子どもの意識を法に繋ぐと同時に国連人権委員会で認識された子どもの権利を語っておくべきである。それは、子ども個人の権利を並べて見せるだけでなく、国家など子どもに対する構造的暴力から意識を立て直すよすがにもなる。子どもの権利条約は各国が批准するものであるが、子どもが承知しておく必要がある。人権の思想と子ども存在の認識は、近代社会の1つの到達点であり、子どもに引き継いでもらうべき価値として、道徳教育において取り上げていい。

10 には、日本において取り上げるべき考えとして、**批判的思考**を挙げる。道徳授業において深く考えるためには、他者との論議を媒介するにせよ、批判的思考が不可欠である。批判的思考は、高等学校段階になって身につければいいのではない。子どもが、多面的に、間主観的⁵⁶に考え、道徳において内省（リフレクション）するために必要な資質能力であると、道徳教育において意識されるべきである。合理的で批判的な思考は、課題解決学習を進めるために有意義であり、科学技術について判断する市民の育成、統合的な課題解決のケイパビリティのために、意識化され、授業において扱われるべきである。好き嫌いの感情やイデオロギーや宗教にとらわれることなく、人類の一員として世界において生きていくために、思考の在り方を考える批判的思考は、道徳における考える学習方略として意識されている。

どのように考えるかを考えるメタ思考は哲学であり、子どものための哲学や P4C (philosophy for children)もどう考えるかを扱い⁵⁷、道徳に関わる齟齬やジレンマを、批判的思考と共に、くぐり抜ける。道徳教育において、考える道具を意識する

ことが、心情を育むこととともに、日本の道徳教育場面に必要である。

中国国定教科書の生命尊重を見ながら日本の道徳教科書が採るべき10点を挙げた。中国国定道徳教科書を鏡にすると、日本の道徳教育がどのような位置にあるか、方向をとるべきか、示唆は大きい。中国がその進む方向を明確にして道徳教育を体系化してみせるとき、日本の進む方向と体系の在り方を見ざるを得ない。子どもの権利、批判的思考といった西欧近代が生みだした成果を道徳教育に取り入れるとともに、人類の協同という点に至る道徳教育のために、日本の道徳教育は、西欧近代個人主義の到達点に止まらず、個人を育成する協同の繋がりの方を意識した道徳教育を志向すべきである。

人類共同体に言及する中国の道徳教育を見ると、日本の道徳教育は、近代西欧個人主義の到達点である子どもの権利を含む人権という、主語となる個人の自己肯定感育成の課題に取り組むと共に、そこから広がる人類の相互理解と生存、すなわち平和への志向を考えていい。生命尊重は、日本の子どもを支えるとともに、人類の生存を支える価値であり、人類の一員としての子どもの自己肯定感に基盤をもつ。中国の人類共同体との表現は、中国の特色ある社会主義のイデオロギーが世界に広がる夢である。日本は、アジアにおける文化史上の位置からして、人類の在り方に寄与する道徳教育の在り方を、思想の次元において、また教育のやり方の先進性において、明らかにできるだろう。日本の道徳教育は、国内の行政枠に閉じこもった論議に終始せず、1時間の授業のやり方、子ども個人の評価に終わらず、近隣と世界の道徳教育を見、交流し、人類という立場に立っておこなう必要がある。

こうしてみると、中華人民共和国の道徳教科書は、個人のケアを視野に入れて記述しながら向社会的あるいは国家的である。個人を社会あるいは国家と関係した意味ある生き方へと促す。これ

に比べて、日本の道徳教科書は公共性を要請しながら個人の内面に向かっており、個人の内面の成長を扱う。生き方は個人の内面へのふり返りにおいて充実した生となる。

(本研究は科学研究費基盤研究(C)17K04904による成果である。)

註

- 1 中华人民共和国教育部 (2019), <教育部办公厅关于印发 2019 年中小学教学用书目录的通知 >
http://www.moe.gov.cn/srcsite/A26/moe_714/201906/t20190605_384649.html (2019 年 8 月 5 日閲覧)。各省, 例えば贵州省は, これを「省教育厅转发教育部办公厅关于印发 2019 年中小学教学用书目录的通知」として 2019 年 6 月 6 日に改めて通知している。
- 2 中华人民共和国教育部 (2017), 普通高中思想政治课程标准 (2017 年版), 人民教育出版社。 <https://item.jd.com/12301204.html> (2019 年 8 月 5 日閲覧) では, 教育部普通高中思想政治课程标准 (最新版) との説明がある。
- 3 共产党员网 (2014), 中共中央关于全面推进依法治国若干重大问题的决定, 2014 年 10 月 23 日中国共产党第十八届中央委员会第四次全体会议通过
<http://news.12371.cn/2014/10/28/ARTI1414492334767240.shtml> (2019 年 8 月 5 日閲覧)
- 4 中华人民共和国教育部 (2019), 前掲文献
- 5 中华人民共和国教育部司法部 (2016), 教育部司法部 全国普法办关于印发《青少年法治教育大纲》的通知, http://www.moe.gov.cn/srcsite/A02/s5913/s5933/201607/t20160718_272115.html (2019 年 8 月 5 日閲覧)
- 6 中华人民共和国教育部 (2017) <教育部 2017 年工作要点 >
http://www.moe.edu.cn/jyb_xwfb/moe_164/201702/t20170214_296203.html (2019 年 8 月 5 日閲覧)。これによると, 国定化されるのは, 道徳と法治, 国語, 歴史の 3 教科である。
- 7 中华人民共和国教育部 (2017), 教育部办公厅关于 2017 年中小学教学用书有关事项的通知, http://www.moe.gov.cn/srcsite/A26/moe_714/201705/t20170502_303533.html (2019 年 8 月 5 日閲覧)。中华人民共和国教育部 (2017), 教育部办公厅关于 2017 年义务教育道德与法治, 语文, 历史和小学科学教学用书有关事项的通知, http://www.moe.edu.cn/srcsite/A26/moe_714/201707/t20170703_308452.html (2018 年 8 月 23 日閲覧)
- 8 中华人民共和国教育部 (2018), 教育部办公厅关于 2018 年中小学教学用书有关事项的通知, http://www.moe.gov.cn/srcsite/A26/moe_714/201805/t20180507_335240.html (2019 年 8 月 5 日閲覧)
- 9 沈晓敏 (2017), pp.87-88
- 10 中华人民共和国教育部 (2001), 基础教育课程改革纲要 (试行), 教育部关于印发《基础教育课程改革纲要(试行)》的通知, 教基[2001]17 号, http://www.moe.gov.cn/srcsite/A26/jcj_kcjcgh/200106/t20010608_167343.html, (2019 年 8 月 5 日閲覧)
- 11 教育部基础教育司组织编写 (2002) 《走进新课程—与课程实施者对话》北京师范大学出版社
- 12 中华人民共和国教育部 (2002) 《全日制义务教育 品德与生活课程标准 (实验稿)》北京师范大学出版社
- 13 中华人民共和国教育部 (2002) 《全日制义务教育 品德与社会课程标准 (实验稿)》北京师范大学出版社
- 14 教育部基础教育课程教材专家工作委会组织编写 (2012) 《义务教育品德与社会课程标准 (2011 年版) 解读》高等教育出版社, 5 頁
- 15 上藪 恒太郎・蒲池 文恵 (2017), 95 頁。また上藪 恒太郎・蒲池 文恵 (2016), 45 頁。
- 16 上藪 恒太郎・蒲池 文恵 (2016), 48-69 頁
- 17 社会主義の核心的価値観は 2012 年から 3 レベル 4 項目に構造化され, 国家レベルの価値目標

- に、富強、民主、文明、和諧、が挙げられ、社会レベルで、自由、平等、公正、法治、人民レベルで、愛国、敬業、誠信、友善が挙げられて、中国各地でスローガンとして掲示されている。
- 18 中华人民共和国教育部（2016），教育部办公厅关于 2016 年中小学教学用书有关事项的通知，http://www.moe.gov.cn/srcsite/A26/moe_714/201604/t20160428_241261.html（2019 年 8 月 5 日閲覧）
- 19 中华人民共和国教育部司法部（2016），教育部司法部 全国普法办关于印发《青少年法治教育大纲》的通知，http://www.moe.gov.cn/srcsite/A02/s5913/s5933/201607/t20160718_272115.html（2019 年 8 月 5 日閲覧）
- 20 習近平（2014），24 頁
- 21 中國共產黨新聞（2006 年 6 月 26 日）「鄭大華：孫中山“振興中華”口號的提出」<http://theory.people.com.cn/BIG5/49157/49163/4528764.html>（2018/11/14 閲覧）
- 22 ワン・ジョン，伊藤真訳（2014），中国の歴史認識はどう作られたのか，東洋経済新報社，188 頁
- 23 胡錦濤（2007）『中国共産党第十七回全国代表大会における報告』29 頁，<http://book.theorychina.org/upload/7c070cca-361d47c2-837e-f96ae54b0ff4/flipviewerexpress.html?pn=43>（2015/5/10 閲覧）
- 24 教育科学出版社版，2004 年『品德と社会』5 年下 p.62 図II-2-35。周恩来の「中華の振興のために勉強する」は、「国語（语文）」人民教育出版社版（4 年上 121-125 頁）にも同じタイトルで文章が記載されている。それによると、原文の作者は陳訖とある。
- 25 この点は、上菌恒太郎，蒲池文恵（2015），p.68-69 に書いた。
- 26 中国中央文献研究室編（2013），16 頁
- 27 上菌恒太郎，蒲池文恵（2017），107 頁参照
- 28 http://jp.xinhuanet.com/2017-10/24/c_136703102.htm，新華社| 2017-10-24 22:26:00|編集:吴寒冰
- 29 『道徳と法治』九年級上の中国の夢の部分の訳は高井良舞による。
- 30 http://japanese.china.org.cn/politics/txt/2018-04/28/content_50996042.htm（2019 年 8 月 5 日閲覧）
- 31 法制日报 2018 年 4 月 28 日
http://www.npc.gov.cn/npc/cwhhy/13jcw/2018-04/28/content_2054233.htm（2018 年 8 月 23 日閲覧）。蒲池文恵・上菌恒太郎訳。
- 32 <http://hk.crnrt.com/doc/1050/5/2/6/105052649.html?coluid=93&kindid=17114&docid=105052649&mdate=0428003109>（2019 年 8 月 5 日閲覧），蒲池文恵訳
- 33 習近平（2014），36 頁
- 34 日本教職員組合は 1958 年に、文部省の発表によると、86.3% の組織率であった。（<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%97%A5%E6%9C%AC%E6%95%99%E8%81%B7%E5%93%A1%E7%B5%84%E5%90%88>，2019 年 8 月 8 日閲覧）
- 35 上田薫は道徳教育の徳目主義だけでなく、道徳が分離することによる社会科の変質を憂う：「昭和三三年の学習指導要領改定以後、社会科は『道徳』と共存しなければならなくなった。私見では、特設道徳はどう考えても徳目主義を脱却していない。これと共存しようということは、社会科が変質したことを明確にものがたっていることができるのである。本来の社会科と結びつく道徳教育は、二〇年代のそれのように、学校教育の全面でおこなうものであった。（段落）道徳的なものと知的なものが結合して離れないというのが、社会科の特色である。両者が分裂すれば、一方は徳目主義となり、一方は知識のなかに抽象的に埋没することとなる。具体的な思考は阻止されてしまうこととなる。ということは、社会科が目的としたメンタリティの改革は失敗に帰し、学問観は依然として人間喪失をつづけることになるのである（上田薫，1981，p.41）。

- 36 教育部の検定に 2016 年合格との印がある。1 年分を上下に分けており、一年級上冊は値段 5 元。学年が上がると厚くなるためか、七年級下冊で 6.85 元。義務教育課程の児童・生徒には無償配布される。
- 37 以下、中国の道徳教科書の訳は、蒲池文恵・上藺恒太郎による。
- 38 上藺恒太郎, 長田誠, 一瀬利朗, 賀南, 蒲池文恵 (2012) が台湾でおこなった国際共同道徳学習案 90 頁「主人公は命を大切にしたことになるのだろうか」の間, 授業者と子どもの発言では 95 頁の発問, SARS のさなかにボランティアとして飛び込んだ主人公のバスの運転手の行為への間は, ここでの問いと同じである。
- 39 KAMIZONO Kohtaro (2018), *Inclusion and Integration: Moral Education Lessons in Japan and China*, p.2. この論文で, アマルティア・センの用語を使いながら, ケイパビリティの概念を定義した。
- 40 参照: 岡崎耕, 上藺恒太郎 (2015), 未来からの振り返りによる自己肯定感, 道徳教育方法研究 第 20 号, 11-20 頁
- 41 中国の wikipedia 維基百科, 自由的百科全书に, 时传祥 (1915 年 9 月 20 日 - 1975 年 5 月 19 日) 是中国一名著名的劳动模范, との説明がある, 政治情勢に翻弄された英雄烈士である。
<https://zh.wikipedia.org/wiki/%E6%97%B6%E4%BC%A0%E7%A5%A5>
- 42 引用は 2 つとも中国共産党第 19 回全国代表大会 (第 19 回党大会) の『中国共産党規約 (改正案)』に関する決議。
- 43 <https://doutoku.mext.go.jp/html/basic.html>, 文部科学省による道徳教育アーカイブ～道徳科の全面実施に向けて～, にもいじめ問題への対応が真っ先に挙げられる。
- 44 中学校学習指導要領解説総則編 (抄), 2015 年 7 月, 1 頁
- 45 簡略に集約した記述として, 上藺恒太郎, 子どもの死の意識, 心の教育総合支援センター, 『こころ育て』 Vol.1, 2005, 教育出版, 12-23 頁を参照。
- 46 上藺恒太郎 (2017) 第 6 章第 3 節いのちへの思いを育てる道徳遠隔授業 258-272 頁に, 死を介していのちを扱い, 自己肯定感を育てた道徳授業を掲載してある。また, 上藺恒太郎 (2018), 自己肯定感を育てる道徳授業の構成 -- 「ミサゴのいる山」の物語を例に, 長崎総合科学大学紀要第 57 巻 2 号 61-91 頁
- 47 参照: 上藺恒太郎 (2018), 生命尊重の総合的な学習を広げる映画活用の提案--中学生が映画「うまれる」を観て思ったこと, 長崎総合科学大学紀要第 58 巻 2 号, 67-106 頁。
- 48 小学校学習指導要領 (平成 29 年告示) 解説特別の教科道徳編, 37 頁
- 49 中学校学習指導要領 (平成 29 年告示) 解説特別の教科道徳編, 32 頁
- 50 中学校学習指導要領 (平成 29 年告示) 解説特別の教科道徳編, 37 頁
- 51 小学校学習指導要領 (平成 29 年告示) 解説特別の教科道徳編, 36 頁
- 52 中学校学習指導要領 (平成 29 年告示) 解説特別の教科道徳編, 69 頁
- 53 http://jp.xinhuanet.com/2017-10/24/c_136703102.htm, 2019 年 8 月 25 日閲覧。人類共同体の構築について, 楊守涛は「理論中国」に 2018 年 9 月 21 日に発表した説明で「習近平同志を核心とする党中央が中国の特色ある大国外交を画策するための肝心な原則と方向であり, その実践と理念は中国共産党が全党と全国各民族人民を指導して世界の全人類に対する偉大な貢献である」という。(http://jp.theorychina.org/xsqy_2477/201809/t20180921_366832.shtml, 2019 年 10 月 30 日閲覧)。
- 54 上藺恒太郎 (2005) が, ドイツと日本のヒトゲノムに関する意識調査をおこない, 科学研究について判断できる市民育成を図る学校教育が必要であると論じている。
- 55 疑似科学との付き合い方 ～教師を目指す皆さんへ～(2010), 7-8 頁,
- 56 間主観的との表現は, 人と人との関係に関わ

る事柄について相互に認め合うという仕方 で
いわゆる客観性が成立するために、この用語が
適切であると考えている。特に道德に関しては、
間主観的に相互に認められる事柄が通用する。
いわゆる科学認識も人間という視点からは、人
間の認識の仕方であり、人の中に通用する間主
観的認識の一種である。

57 上菌恒太郎 (2015) は、読み継がれた児童文
学のほか、「哲学も、道德授業に持ち込める。
子どもの哲学やP4C (philosophy for children)が子
どもに考える力をつけ、自分に向き合う力をつ
ける」と論じた。

参考文献

上田薫 (1981), 社会科の本質的立場, 総監修者
大嶋三男 ほか, 企画委員 東洋ほか, 第 10 卷
編者 浜田陽太郎

岡崎耕, 上菌恒太郎 (2015), 未来からの振り返
りによる自己肯定感, 道德教育方法研究 第 20
号, 11-20 頁

KAMIZONO Kohtaro (2018), Inclusion and
Integration: Moral Education Lessons in Japan and
China, Bulletin of the Nagasaki Institute of Applied
Science, Vol58-1, pp1-17,
[https://nias.repo.nii.ac.jp/?action=pages_view_main
&active_action=repository_view_main_item_detail
&item_id=812&item_no=1&page_id=13&block_id
=17](https://nias.repo.nii.ac.jp/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=812&item_no=1&page_id=13&block_id=17)

上菌恒太郎 (2018), 生命尊重の総合的な学習を
広げる映画活用の提案--中学生が映画「うま
れる」を観て思ったこと, 長崎総合科学大学紀
要第 58 卷 2 号, 67-106 頁

上菌恒太郎 (2018), 自己肯定感を育てる道德授
業の構成--「ミサゴのいる山」の物語を例に,
長崎総合科学大学紀要第 57 卷 2 号 61-91 頁

上菌恒太郎 (2017), 連想法による道德授業評価
教育臨床の技法, 教育出版

上菌恒太郎 (2015), 子どもを支える道德授業の
必要, 教育哲学研究第 112 号

上菌恒太郎 (2005), ヒトゲノム研究と学校教育
—知識に基づく道德上の判断を育成するために,
道德教育方法研究第 10 号, 20-29 頁

上菌 恒太郎, 蒲池文恵 (2017), 中華人民共和
国の道德教科書にみる自己肯定感の育て方と愛
国心への集約, 長崎総合科学大学紀要第 56 卷
第 2 号, 94-148 頁

上菌 恒太郎, 蒲池文恵 (2016), 中華人民共和
国の道德教科書にみる戦争と平和 —教科書を通
じた統合—, 長崎総合科学大学紀要第 55 卷
第 2 号, 42-96 頁

上菌恒太郎、長田誠, 一瀬利朗, 賀南, 蒲池文恵
(2012), グローバル化と国際共同道德学習案
の意義 —台湾と日本のいのちの支え合い—,
長崎大学教育学部教育実践総合センター紀要第
11 号, 83-97 頁

長島雅裕, 古谷吉男, 上菌恒太郎, 安部俊二, 武
藤浩二, 小西祐馬(2010), 疑似科学との付き合
い方 ~教師を目指す皆さんへ~,
[http://naosite.lb.nagasaki-
u.ac.jp/dspace/bitstream/10069/23093/4/pseudosc
ience.pdf](http://naosite.lb.nagasaki-u.ac.jp/dspace/bitstream/10069/23093/4/pseudoscience.pdf) (2019 年 11 月 6 日閲覧)

沈曉敏 (2017), 中国における社会科教育の動向
—小学校における「品德と社会」から「道德と
法治」への変容を中心に—, 社会科教育研究
No.131, 日本社会科教育学会, 87-99 頁

習近平 (2014), 中華民族の偉大な復興を目指す
中国の夢, 中共中央文献研究室編, 中共中央マ
ルクス・エンゲルス・レーニン・スターリン著
作翻訳編集局訳, 外文出版社

中国中央文献研究室編 (2013), 习近平 关于实
现中华民族伟大复兴的中国梦 论述摘编, 中央
文献出版社

中国共産党第 19 回全国代表大会の『中国共産党
規約 (改正案)』に関する決議, 2017, 編集:
吴 寒 冰, 新 華 社 北 京 10 月 24 日,
[http://jp.xinhuanet.com/2017-
10/24/c_136703102.htm](http://jp.xinhuanet.com/2017-10/24/c_136703102.htm) (2019 年 11 月 6 日閲覧)

中華人民共和国教育部 司法部 全国普法办关于印
发, 《青少年法治教育大纲》的通知, 教政法

[2016] 13 号 ,

http://www.moe.gov.cn/srcsite/A02/s5913/s5933/201607/t20160718_272115.html (2019年11月6日閲覧)

人民教育出版社课程教材研究所/中学德育课程教材研究开发中心编著 (2018), 义务教育教科书教师教学用书道德与法治 七年级上册, 人民教育出版社

人民教育出版社, 総主編魯洁, 本冊主編孙彩平, 道徳と法治 (2016), 一年級上冊

人民教育出版社, 総主編朱小蔓, 本冊主編王磊, 刘朝振, 道徳と法治 (2016), 七年級上冊

人民教育出版社, 総主編朱小蔓, 本冊主編王磊, 刘朝振, 道徳と法治 (2018), 七年級上冊

人民教育出版社, 総主編朱小蔓, 本冊主編李晓东, 黄向阳, 曹金龙, 道徳と法治 (2017), 八年級上冊

人民教育出版社, 総主編朱小蔓, 本冊主編陈大文, 王敬波, 张祖涛, 道徳と法治 (2018), 八年級上冊

人民教育出版社, 総主編朱小蔓, 本冊主編高国希, 杨一码, 道徳と法治 (2018), 九年級上冊

人民教育出版社, 総主編朱小蔓, 本冊主編高国希, 吴蓉, 秦书珩, 道徳と法治 (2018), 九年級下冊